

# 建設業社会貢献活動事例集

平成21年度



生活を守り  
まちをささえる  
建設業



社団法人 全国建設業協会  
47都道府県建設業協会



## はじめに

わが国経済は、『景気は持ち直しているものの自律性に乏しく、失業率が引き続き高水準にあるなど、依然として厳しい状況であり、先行きも、雇用情勢の一層の悪化やデフレなど、景気の下押し要因に留意する必要がある』と発表されるなど、今後、景気の底割れが懸念される不透明な状況にあります。

建設業界の状況は、長年にわたる公共事業費の削減、競争の激化とダンピング受注の頻発、さらに、金融機関の融資姿勢の厳格化や不動産市況の低迷等により、依然として厳しい経営環境に直面しておりますが、さらに、政権交代により、補正予算の執行停止や平成 22 年度公共事業予算の大幅削減が行われることとなり、地域経済や中小・中堅建設企業に及ぼす影響がさらに深刻化する懸念が強まっております。

しかしながら、このような状況下においても、各都道府県建設業協会並びに地域の基幹産業である建設企業は、地域経済の活性化、雇用の確保に貢献するのみならず、国・地方自治体との災害協定に基づき、地震、台風、豪雨、豪雪等による災害発生時には、住民の安全・安心確保のため、二次災害も想定される厳しい条件の中で、不眠不休で応急復旧活動に取り組んでおります。

また、地域の環境保全のため、河川・道路・森林等の美化活動等に積極的に取り組むとともに、地域の各種イベントへの協力、安全パトロール活動等を通じて地域に根ざした様々な取組みを実践し、地域社会に大きく貢献しております。

しかし、こうした地域建設業界の取り組みは、新聞・テレビ等のマスコミにおいて報道される機会も少なく、また、建設業界も必ずしも積極的に PR 活動を行ってこなかったため、国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、毎年 7 月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開しております。

本書は、本会が平成 21 年度に実施した「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」において顕彰した各建設業協会・支部並びに会員企業が、主に平成 20 年度中に実施した優れた社会貢献活動を事例集に取りまとめたものであります。

本書が地域建設業界の取り組んでいる社会的責任(CSR)と、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の真摯な社会貢献活動をご理解いただくとともに、欧米諸国に比べて脆弱な我が国の社会基盤の計画的・継続的な整備の必要性を認識いただく一助となれば幸甚であります。

平成 22 年 3 月

社団法人 全国建設業協会

## 目 次

1. 報告書の概要.....	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について.....	2
(1) 開催趣旨.....	2
(2) 行事の開催.....	2
(3) 功労者表彰.....	8
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —.....	10
3. 1 代表的な活動事例.....	10
3. 2 協会・支部等の活動事例.....	16
(1) 災害復旧支援活動.....	17
(2) 防災支援活動.....	18
(3) 建設業ふれあい活動.....	19
(4) 環境美化活動.....	21
(5) 環境保全活動.....	30
(6) 社会福祉活動.....	32
(7) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動.....	35
3. 3 会員企業の活動事例.....	38
(1) 災害復旧支援活動.....	39
(2) 建設業ふれあい活動.....	41
(3) 環境美化活動.....	43
(4) 環境保全活動.....	51
(5) 社会福祉活動.....	52
(6) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動.....	59

参考 リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol.4」(縮小版)



## 1. 報告書の概要

近年、「企業の社会的責任」(CSR)が企業評価の重要な要素となり、各企業には経済的利益を追求するだけでなく、多様なステークホルダー(利害関係者)に対して、社会貢献、環境、法令遵守等の幅広い分野における社会的価値を重視し、企業の持続的な発展を図ることが必要不可欠となっております。

各都道府県建設業協会・支部・地区協会と各建設企業は、地域の基幹産業である建設業の社会的責任と使命を強く認識し、地域経済の活性化、雇用の確保に貢献するのみならず、国・地方自治体との災害協定に基づき、災害発生時には、住民の安全・安心を確保するため、不眠不休で応急復旧活動に取り組んでおります。

また、地域の環境保全のため、河川・道路・森林等の美化活動等に積極的に取り組むとともに、地域の祭りなど各種イベントへの協力、安全パトロール活動等を通じて地域に根ざした様々な取組みを実践し、地域社会に大きく貢献しております。

しかしながら、このような地域建設業界の取組みは、マスコミ等において報道される機会も限られており、また、建設業界も必ずしも積極的にPR活動を行ってこなかったため、国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、平成18年度より毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会と緊密な連携により様々な社会貢献活動に取り組んでおります。

本会では、この月間の活動の一環として、平成20年度中に各地域で実践された様々な社会貢献活動を広く募集し、全建表彰規程に基づき厳正な審査を経て、優れた活動事例を功労者表彰として顕彰しております。

本書は、平成21年度の中央行事において、受賞された51事例の中から、当日、事例発表を行った(社)福島県建設業協会青年部の犯罪防止パトロール「建設見守り隊」の活動、(社)金沢建設業協会の集中豪雨災害における応急災害復旧活動、北海道の宮脇大木建設(株)の環境美化・保全活動の3事例を始め、代表的な活動事例を選び、分類・紹介します。

紹介事例は、各都道府県建設業協会・支部等の活動22事例、地方協会会員企業の活動22事例の二つに大別し、さらに、①災害復旧・防災支援活動、②建設業ふれあい活動、③環境美化・保全活動、④社会福祉活動等のジャンルごとに整理し、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の取組み等、様々な社会貢献活動の内容を、「平成21年度建設業社会貢献活動事例集」として取りまとめたものです。

また、巻末には、この月間の開催に合わせて作成したリーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 4」(縮小版)を掲載しています。

## 2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

### (1) 開催趣旨

地域の建設企業は、良質な社会資本整備の提供はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、地域住民との交流など、様々な社会貢献活動を実践しています。しかしこうした取組みは、マスコミ等において報道される機会も少なく、必ずしも国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、毎年7月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開しています。

平成21年度は、第4回目の「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」を7月29日に東京・経団連会館において下記により開催いたしました。また、各都道府県建設業協会・支部においても、災害復旧支援活動、環境美化活動等の各種イベントや社会奉仕活動等が、次ページのアンケート結果のように全国的に実施されました。

### (2) 行事の開催

平成21年度「建設業社会貢献活動推進月間」において、本会並びに都道府県建設業協会の開催した行事、実施した活動は次のとおりです。

#### ○(社)全国建設業協会の中央行事

行事名	平成21年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日時	平成21年7月29日(水) 14:00~19:00
場所	経団連会館4階ダイヤモンドルーム
内容	(1) 開会 ・会長挨拶 (社)全国建設業協会会長 浅沼 健一 ・来賓ご挨拶 国土交通省建設流通政策審議官 小澤 敬市 氏 (2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式 ①規定第3条関係(協会・支部等)功労者表彰(22件) ②規定第4条関係(会員企業)功労者表彰(29件) (3) 建設業社会貢献活動事例発表 ①(社)福島県建設業協会青年部 ②(社)金沢建設業協会 ③宮脇大木建設(株)(北海道) (4) 記念講演会 『地域建設企業の災害時における事業継続について』 講師:(財)建設経済研究所理事、 NPO 法人事業継続推進機構理事長 丸谷 浩明 先生
参加者	約200名(国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関連団体及び一般関係者)

○都道府県建設業協会の開催した活動

協会名	活動内容	実施日	参加人数等
青森	「全国建設青年の日」青年部会による、施工現場周辺の清掃ボランティア活動 (東青・西地方・中弘・南黒・北五・上北・下北・三八の8支部)	7月28日	144社1,558人
岩手	青年部ふれあい事業 「黄金ロードふれあい作戦」(清掃活動)	9月8日	青年部19社23人
	ふれあい事業(小学校)	8月10日	会員・自治体等90人
	防災訓練・清掃活動	6月30日	小学生148人
	水路整備作業 (一関支部)	6月16日	業界・自治体80人
		4月18日	業界・自治体260人
	ふれあい事業・施設整備作業	9月7日	青年部会31人・生徒84人・教員等15人
	「道の日」イベント(清掃活動)	8月7日	業界110人
	ふれあい事業(中学校)	7月9日	業界40人・生徒78人
	北上川清掃活動 (花巻支部)	4月18日	業界24社100人
	「道の日」イベント(清掃活動)	8月10日	青年部会・岩手県建設業女性マネジングスタッフ協議会
	ふれあい事業(小学校) (千厩支部)	6月30日	
	北の道クリーンキャンペーン (二戸支部)	8月7日	青年部・自治体
	清掃活動	8月7・10日	業界100人
	ふれあい事業(中学校)	7月3日	青年部25人・生徒32人
	献血活動	6月24日	業界70人
	清掃活動	6月17日	業界110人
	実習協力	6月25日	青年部会
北上川清掃活動 (北上支部)	4月18日	業界43社122人	
河川・道路清掃 (遠野支部)	8月4日	青年部他4団体70人	
道路清掃	8月4日		
ふれあい事業(中学校) (宮古支部)	6月30日	中学生	
花壇整備	7月30日	業界・自治体45人	
河川敷清掃	7月28日	業界11人	
ふれあい事業(小学校)	7月15日		
花壇整備 (岩泉支部)	6月12日	業界16社・26人	
清掃活動(岩手県建設業女性マネジングスタッフ協議会)	7月24日	7人	
「花のポケットパークづくり」(清掃活動・花壇整備) (久慈支部)	7月23日	業界48社・58人	
ふれあい事業(中学校) (大船渡支部)	7月23日	業界・生徒55人	
ふれあい事業(中学校) (水沢支部)	7月10日		
宮城	献血推進活動(協会・栗原支部・仙南支部・会員会社)	7月1・4・10・20・23日	業界210人
	広瀬川クリーンキャンペーン2009(青年会)	7月28日	業界・一般・自治体171人
福島	「道路ふれあい月間」清掃奉仕活動 (猪苗代支部・田島支部・郡山支部・二本松支部)	7月5日・8月10日	業界1,930人
茨城	「道の日」県内の道路・カーブミラー清掃	8月20日～10月	業界・自治体1,000人

協会名	活動内容	実施日	参加人数等
東京	「平成 21 年防災展」への協力 「建設技術展示会 2009」の開催	8月18～21日	業界・一般 40,000 人
		9月27～29日	業界・一般 40,000 人
長野	高校生の実習技術指導・企業研修	4月21日・ 6月2日	業界・先生・生徒 39 人
	第 14 回建設旗争奪「上小中学校 1 年生野球大会」 (上小支部)	10月31日・ 11月1日	業界・生徒・父兄 464 人
	諏訪湖岸の美化活動	6月20日・ 8月28日	業界 26 人
	献血奉仕活動 (諏訪支部)	6月9・11・ 16日	業界 46 人
	「道路クリーン作戦」の実施 (伊那支部)	6月18日	業界・自治体 437 人
	献血奉仕活動 (飯田支部)	6月30日・ 11月4日	業界・一般・自治体 230 人
	献血活動	5月22日・ 11月6日	業界・自治体・一般 227 人
	道路クリーンキャンペーン活動 (松筑支部)	8月6日	業界・自治体 69 人
	クリーンアップ安曇野 (安曇野支部)	7月8日	業界・自治体 50 人
	国・県道道路草刈作業 乳川アダプトプログラム活動 (アレチウリ駆 除) (大北支部)	6月25日 9月3日	業界・自治体 56 人 業界・自治体 39 人
	「千曲市第 3 回みんなで育てる協働のものづく り」 (更埴支部)	10月10日	業界 10 人
	春の道路一斉清掃 (須坂支部)	4月24日	業界・自治体 36 人
	夜間瀬川クリーンキャンペーン	7月5日	業界・一般・自治体 500 人
	信州ふるさとの道ふれあい事業 (植栽活動) (中高支部)	6月～3月	
	献血奉仕活動	4月2日・ 10月13日	業界 95 人
	春・秋のゴミゼロ運動 第 3 回建設業美化事業ボランティア 第 4 回けんせつ杯野球大会 第 10 回献血ボランティア事業 (長野支部)	5月28日 6月18日 10月4・10日 10月5日	業界 18 人 業界 21 人 業界・一般 265 人 業界 61 人
平成 21 年度フラワーロード事業 (植栽活動) (飯山支部)	6月8日～ 9月4日	業界・一般・自治体 1,500 人	
静岡	道路及び河川愛護運動 親子現場見学会 高校生の現場実習 ((社)袋井建設業協会)	7月7日～ 8月7日 11月17日～	業界 480 人 業界・一般 84 人 業界・一般 37 人
	道路美化清掃活動 親子現場見学会 ((社)沼津建設業協会)	7月17日 8月21日	業界 18 人 業界・一般・自治体 62 人
	道路愛護運動・静岡空港線の除草作業	7月18日～ 9月5日	業界 661 人
	親子現場見学会 高校生の現場実習 大井川「川まつり」 ((社)島田建設業協会)	8月7日 7月27～30日 7月31日	業界・一般 45 人 一般 10 人 業界 7 人
	河川愛護月間奉仕活動 ((社)富士建設業協会)	7月23日	業界 76 人

協会名	活動内容	実施日	参加人数等
	道路美化運動清掃奉仕作業	7月29日	業界 65人
	親子現場見学会	8月21日	業界・一般 40人
	地域あんしん住まい応援隊	9月15日	業界 40人
	高校生の現場実習 ((社)清水建設業協会)	8月25~28日	一般 10人
	道路愛護作業	7月31日・ 8月27日	業界 66人
	親子現場見学会 ((社)天竜建設業協会)	8月5日	業界・一般 19人
	道路河川の除草・清掃活動 ((社)浜松建設業協会)	8月7日	業界 120人
	主要幹線道路の一斉清掃 ((社)下田建設業協会)	8月28日	業界 140人
	親子現場見学会	7月25日	業界・一般 63人
	高校生の現場実習 ((社)静岡建設業協会)	8月4~7・25 ~28日	一般 35人
	専門高校生サマー体験学習 ((社)静岡県建設業協会)	8月7~11日	一般 11人
愛知	名古屋打ち水大作戦 2009	7月25日	業界・一般・自治体 130人
三重	愛宕川・神通川一斉清掃への協力	9月6日	業界・一般 3,000人
	氏郷まつりへの参加	11月3日	業界 12人
	道路清掃美化ボランティア活動 (一志支部)	8月26日	業界 18人
	河川愛護月間に伴う員弁川清掃活動 (桑員支部)	7月24日	業界・自治体・一般 146人
	道路美化ボランティア活動 (四日市支部)	8月26日・ 9月2日	業界 93人
	ふれあいのみち事業(清掃活動)	6月5日・ 9月4日・ 11月6日	業界 33人
	鈴鹿市との合同による「土のう作成と保管箇所 一斉点検作業」 「こども110番」活動	8月5日	業界・自治体 100人
	第13回すずかフェスティバルへの参加 (鈴鹿支部)	10月 8月2日	業界 33人 業界・一般 3,200人
	赤羽川・銚子川・船津川清掃活動 (紀北町建設業協会)	6月11日・ 7月18日	業界 50人 業界・自治体 60人
	尾鷲港清掃活動 (尾鷲市建設業協会)	7月30日	業界・一般 120人
	きほく七夕物語への協力 (尾鷲支部青年部)	7月4・5日	業界・一般 50人
	道路美化ボランティア活動 (伊賀支部)	9月25日	業界 99人
	道路美化ボランティア活動 (志摩支部)	9月26日・ 11月21日	業界 28人
	「津の美しい海づくり」海岸一斉清掃	7月4日	業界・一般 3,300人
	ふれあいのみち事業(清掃活動) (亀山支部)	7月24日	業界 15人
	富山	「全国青年の日」事業として地域ボランティア 活動を各支部で実施	
角川清掃活動 (魚津支部)		7月4日	青年部 23人・自治体
氷見島尾海岸 (氷見支部)		7月5日	青年部 22人
高岡古城公園清掃活動 (高岡支部)		7月23日	青年部・業界 200人
AED操作方法等に関する講習会 (砺波支部)		7月28日	青年部 36人

協会名	活動内容	実施日	参加人数等
	子撫川清掃活動 (小矢部支部)	7月28日	青年部22人・自治体28人
	大岩川清掃・稚魚放流等 (立山支部)	7月29日	青年部18人・児童等10人
	「あさひまつり」への参加 (入善支部)	8月1～2日	業界・一般120人
	坪野川清掃活動・「婦中っ子まつり」への参加 (富山支部)	9月26日	青年部80人
石川	24時間テレビ「愛は地球を救う」へのチャリティーイベントへ協賛	8月29・30日	業界・一般50,000人
福井	「道守」活動(清掃活動) (坂井郡協会)	7月3日	業界110人・自治体20人
京都	親子でまなぶ 京都の建設・土木	8月22日	業界・一般103人
兵庫	「建設ふれあい祭り」(建機試乗・木工教室等) (兵庫建設青年部会)	7月25日	業界100人 自治体・一般400人
岡山	「道路ふれあい月間」(清掃活動)への参加	8月23日	業界・一般・自治体1,500人
	会員による、お盆・年末年始の駐車場無料開放 (津山支部)	8月13～16日	24箇所・330台
鳥取	「じげの川」一斉清掃 (中部支部)	7月25日	業界・自治体・一般100人
	「じげの川・旧加茂川」一斉清掃 (西部支部)	7月25日	業界・自治体・一般120人
	「日野川」一斉清掃 (日野支部)	8月4日	業界150人
	ボランティアロード砂丘(清掃・花壇整備)活動 (東部支部)	4月10日	業界20人
香川	河川・道路清掃 (建築部会)	6月27日・8月	業界500人
	献血・道路清掃・チャリティー募金活動 こどもSOS活動等 (高松支部)	6月・8月 通年	業界271人
	道路清掃・献血活動 (中讃支部)	5月・8月・11月	業界460人
	道路清掃・献血活動 (西讃支部)	8月・11月	業界180人
	道路清掃 こどもSOS活動等 (長尾支部)	8月10日 通年	業界80人
	道路点検・清掃 献血活動 こどもSOS活動等 (小豆支部)	8月10日 6月16日 通年	業界120人 業界100人
	道路・水路・港湾清掃 (舗装部会)	通年	会員会社
	清掃活動・子どもSOS活動・献血活動 ボランティア活動等 (建築部会)	通年	会員会社
	イベント協力 (観音寺市建設業協会)	7月・8月	業界124人
	海岸清掃・献血活動 (三豊市建設業協会)		業界50人
佐賀	夏休み親子バス現場見学会	7月19日	業界・自治体・一般52人
	ラブアースクリーンアップ2009(海岸清掃) (河川・道路清掃活動) (社)唐津建設業協会	5月31日 6月25日	業界235人 業界45人
	保育園の芝生の広場造り (社)建設業協会佐賀	6月13日	支部全会員・園児・父兄50人

協会名	活動内容	実施日	参加人数等
	吉野ヶ里歴史公園につづく道の景観美化活動 ((社)神埼建設業協会)	6月25日	業界27人
	鳥栖・三養基地区建設関係測量大会 ((社)鳥栖建設業協会)	8月26日	業界・高校22チーム
	「地域サポート隊・まちをきれいに」 「土木の日」(清掃活動) ((社)小城建設業協会・青年部)	8月20日 11月18日	業界40人 業界50人
	伊万里・西松地区建設関係測量競技会 「土木の日」記念事業(植樹) ((社)伊万里建設業協会)	8月21日 11月18日	業界・高校17チーム 業界50人
	杵島建設業協会ボランティアの日(清掃活動) 献血活動 ((社)杵島建設業協会)	9月22日 10月22日	業界27人 業界100人
	清掃活動 ((社)藤津建設業協会)	8月4日	業界100人
大分	田深川河川敷の清掃活動	7月6日	業界・自治体50人
熊本	環境保全活動(稚アユ放流) 清掃活動 (人吉支部)	4月22日 6月19日	会員・園児61人 業界80人
	環境保全活動(ウナギ稚魚放流) 清掃活動 (玉名支部) (鹿本支部)	7月25日 6月8日	業界・園児・地元住民 業界50人
	清掃活動 (上益城支部)	6月11日	業界100人
	清掃活動 (菊池支部)	6月25日	業界80人
	清掃活動 (熊本支部)	7月7日	業界140人
	清掃活動 (阿蘇支部)	7月8日	業界180人
	清掃活動 (宇城支部)	7月8日	業界110人
	清掃活動 (舗装部会)	7月11日・ 7月14日	業界60人
	環境美化活動 (天草支部)	6月27日～ 7月13日	業界200人
	防災訓練 (建築部会)	8月7日	
	沖縄	「平成21年度 河川愛護月間」(清掃活動) (那覇支部)	7月19日
「道路クリーン作戦」 (南部支部)		3月19日・ 8月21日	業界68人・業界51人
河川・海岸愛護月間 (北部支部)		7月16・23日	業界・一般・自治体 155人
「まるごと沖縄クリーンビーチ2009in中城湾 港」 「平成21年度河川・海岸愛護月間」(清掃活動)		7月3日 7月31日	業界・一般・自治体 318人 業界・一般・自治体 151人
「平成21年度道路ふれあい月間」 (中部支部)		8月27日	業界・一般・自治体 93人

※この活動については、本会が平成21年8月に実施したアンケート調査の回答をもとに取りまと  
めています。

### (3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（22 団体）及び会員企業（29 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰され、浅沼全建会長より表彰状と記念品が伝達されました（写真参照）。

#### ○功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(社) 富山県建設業協会 砺波支部 (社) 金沢建設業協会	富山県 石川県
防災支援活動	(社) 滋賀県建設業協会 長浜支部	滋賀県
建設業ふれあい活動	(社) 秋田県仙北建設業協会 建友会 (社) 栃木県建設業協会 那須支部	秋田県 栃木県
環境美化活動	(社) 長野県建設業協会 中高支部 (社) 岐阜土木工業会 (社) 三重県建設業協会 尾鷲支部 (社) 小松能美建設業協会 (社) 京都府建設業協会 宇治支部 (社) 兵庫県建設業協会 南但支部青年部会 (社) 山口県建設業協会 美弥支部 (社) 福岡県建設業協会	長野県 岐阜県 三重県 石川県 京都府 兵庫県 山口県 福岡県
環境保全活動	(社) 雄勝建設業協会 建究会 (社) 熊本県建設業協会 人吉支部	秋田県 熊本県
社会福祉活動	(社) 福島県建設業協会 青年部 (社) 長野県建設業協会 上小支部 (社) 静岡建設業協会 (社) 高知県建設業協会	福島県 長野県 静岡県 高知県
建設業の啓蒙・イメージアップ活動	(社) 新潟県建設業協会 糸魚川支部 (社) 新潟県建設業協会 十日町支部 (社) 袋井建設業協会	新潟県 新潟県 静岡県



建設業社会貢献活動推進月間中央行事 2009. 7. 29



○功労者表彰受賞者 — 会員企業（規程第4条関係） —

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	野口建設(株)	宮城県
	(株)原工務所	島根県
建設業ふれあい活動	(株)一矢産業	青森県
	(株)田村組	兵庫県
環境美化活動	(株)小金澤組	北海道
	堀松建設工業(株)	北海道
	小針土建(株)	北海道
	(株)佐藤建設	宮城県
	沼田土建(株)	群馬県
	(株)三六組	長野県
	(株)水野組	静岡県
	(株)アキヤマ	静岡県
	名工建設(株)	愛知県
	能登建設(株)	石川県
苅田建設工業(株)	兵庫県	
環境保全活動	(株)加藤建設	愛知県
社会福祉活動	宮脇大木建設(株)	北海道
	上北建設(株)	青森県
	(株)小原建設	岩手県
	(株)板宮建設	岩手県
	(株)深松組	宮城県
	佐藤工業(株)	宮城県
	陰山建設(株)	福島県
	静和工業(株)	静岡県
	(株)増田組	静岡県
	水谷建設(株)	三重県
錦建設(株)	広島県	
建設業の啓蒙・イメージアップ活動	明盛建設(株)	北海道
	三友工業(株)	和歌山県



浅沼全建会長より表彰状の授与

### 3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —

#### 3. 1 代表的な活動事例

ここでは、平成 21 年度に顕彰された活動事例のうち、代表的なものとして「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」で事例発表された次の 3 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部・企業名等	活動内容
A1-02	石川県	(社)金沢建設業協会	浅野川水害の応急復旧活動
A6-01	福島県	(社)福島県建設業協会 青年部	通学路の「あぶないぞマップ」の作成
B5-01	北海道	宮脇大木建設(株)	独居老人宅の除雪ボランティア活動

#### 事例 A1-02 : 石川県

##### 浅野川水害の応急復旧活動（(社)金沢建設業協会）

平成 20 年 7 月 28 日未明、日本海にあった停滞前線の南下で、金沢市から富山県南砺市にかけて急速に雨雲が発達し、山間部を中心に記録的な集中豪雨となった。この雨で、金沢市内を流れる浅野川が氾濫し、家屋の損壊 18 棟、床上浸水 507 棟、床下浸水 1,476 棟など大きな被害が発生し、2 万世帯以上に避難指示が出された。

金沢の市街地は、犀川と浅野川の二つの河川に挟まれた台地に広がっている。

「男川」と呼ばれる犀川は、過去に度々氾濫を起こしているため、近年は河川整備が進んでいる。一方、浅野川は友禅流しが行われるほど穏やかな川で「女川」と呼ばれてきた。今回 55 年ぶりに氾濫した浅野川沿いには、国の重要伝統的建造物群保存地区となっている東山、主計町（かずえまち）の二つの茶屋街があり、



浅野川の氾濫による市街地浸水

両地区とも浸水被害を受けた。



浅野川の氾濫（並木町）



浅野川の氾濫（笠市町）



金沢建設業協会は、平成9年に金沢市との間で締結した「災害時における応急対策活動に関する協定」に基づき、県や市、また会員企業と連絡を取り合いながら、速やかに応急復旧態勢を整えた。

災害発生当日（28日）は、被災地に通じる道路の多くが、流木や土砂（泥）の堆積で封鎖状態のため、県や市と個別協定を結んでいる会員企業が、個別に応急対応を行った。しかし、市街地では被害



主計町地区の土砂堆積

範囲があまりにも広い上に道幅が狭く、重機等の進入も困難な状況で、個別企業の対応では限界があった。そこで同協会は、金沢市と協議の上、翌29日早朝、浅野川沿線に100人規模の人員と、ダンプトラック、バキュームカー、洗浄車、建設資機材等を集めて、一斉に復旧作業を行うことにした。

夏場で気温も高く、路面に堆積した土砂や流木、泥が入った土のう袋、浸水家屋から運び出された畳などが悪臭を放ち始める中、29日と30日の2日間、会員企業から延べ228人が参加して、これらの撤去作業に取り組んだ。

同協会では、今回の応急復旧活動で支障となった事項を洗い出した上で、より迅速な対応を目指して、活動方法や連絡体制などを見直していく考えである。



路面の土砂撤去



側溝の堆積土砂の撤去



道路脇の土砂・ゴミの撤去



浸水家屋から運び出された畳・土砂の撤去

## 通学路の「あぶないぞマップ」の作成（(社)福島県建設業協会青年部）

福島県建設業協会青年部は、地域子どもたちを犯罪や事故から守るため、さまざまな活動を実施している。

### ■「建設見守り隊」の結成

平成 18 年、建設業の特色を生かして子どもたちを見守る「建設見守り隊」を結成した。これは、東北建設業青年会（東北 6 県の青年部連合会）が展開する「子ども 110 番パトロール」の一環で、日常の業務を通じて犯罪・事故などに目を光らせ、危険に関する情報があれば警察に通報する活動である。

パトロール車両に貼るステッカーと、現場や事務所に立てるのぼり旗には、活動を後援している福島県警のマスコットを描き、犯罪抑止効果を狙っている。

建設現場は県内各地に存在し、山間地域やひと気が少ない場所にもあるので、広い範囲で目配りができ、日常の業務の中で効果的な防犯活動を行うことが可能である。



「建設見守り隊」出発式



パトロール車両へのステッカー貼り



県警のマスコットを描いたのぼり旗

### ■「クイズ・こども 110 番」の制作

平成 19 年度には、東北建設業青年会と協力して「クイズ・こども 110 番」と題したテレビ番組を放映した。これは、子どもたちが犯罪から身を守る方法をクイズ形式で学んでいく内容である。

放映後、各方面より大きな反響があったため、番組の DVD を制作して、各県の小学校に贈呈することにした。福島県でも、県下の全小学校に贈られ、防犯教材として有効活用されている。



「クイズ・こども 110 番」DVD



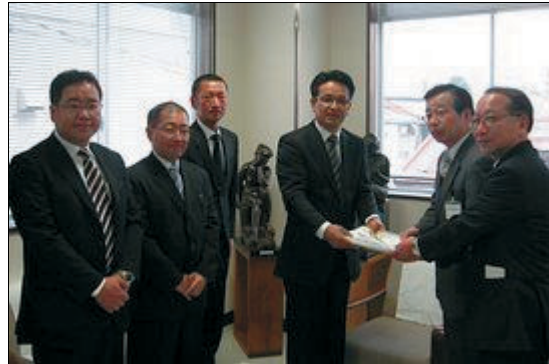
## ■「あぶないぞマップ」の作成

平成 20 年度には、東北建設業青年会と連携しながら、これまでの防犯活動をさらに発展させ、交通安全の要素も加えた通学路のハザードマップを、東北各県において作成することになった。

福島県では、会津若松市の謹教小学校をモデル校に選んで、通学路の危険箇所を示す「あぶないぞマップ」を作成した。マップ作成に当たっては、部会員が子供の目線で通学路を歩き、歩道がない、歩道に段差がある、側溝に蓋がない、樹木が歩道に張り出しているなどの危険箇所をチェックした。発見した危険箇所は写真に撮って、簡単なイラストとコメントを加えて、マップ上に位置を示した。

完成したマップは、平成 21 年 3 月に教育委員会を通じて謹教小学校に贈呈され、全校生徒に配られた。

福島県建設業協会青年部は、今後とも東北建設業青年会や関係機関と連携・協力しながら、防犯活動や地域コミュニティ活動に積極的に参加し、地域の建設業者ならではの知識・経験を生かして、安心して生活できる環境の維持・構築に貢献したいと考えている。



「あぶないぞマップ」の贈呈



「あぶないぞマップ」(謹教小学校区版)

## 独居老人宅の除雪ボランティア活動（宮脇大木建設（株））

宮脇大木建設（株）は、昭和 23 年の創業以来、常に「地域との共生」を心掛け、福祉や環境保全など各種のボランティア活動に取り組んでいる。

## ■除雪ボランティア活動

同社の創業の地である沼田町は、年間の平均降雪量が 11m を越える北海道でも有数の豪雪地帯であり、雪を利用した低温貯蔵施設で品質を保つ「雪中米」の生産地としても有名である。しかし、近年は他の農村地域と同様、少子高齢化とともに高齢者の一人暮らしが増えており、こうした世帯における冬場の除雪作業が大きな問題となっている。

そこで同社は、仕事の少ない冬場に少しでも地域に役立とうと、平成 17 年度から沼田町役場と連携して独居老人宅の除雪ボランティア活動を開始した。

この活動には、毎年約 20 人が参加し、町役場が作成した除雪対象世帯のリストをもとに、数グループに分かれて作業を行っている。主な作業は、軒下の除雪（屋根からの落雪処理）、玄関先の雪庇落とし、融雪溝への投入などである。

この作業は、毎年積雪が最も多くなる 1 月下旬から 2 月初旬に行うが、除雪前のほとんどのお宅は雪で窓が塞がり、昼間でも蛍光灯を点けて生活している状態であった。

同社の除雪ボランティア活動は、対象となる高齢者世帯はもちろん、地域住民からも感謝されており、平成 21 年 3 月には沼田町から感謝状が贈られた。



積雪で塞がった 1 階部分の除雪



屋根からの落雪処理



沼田町からの感謝状



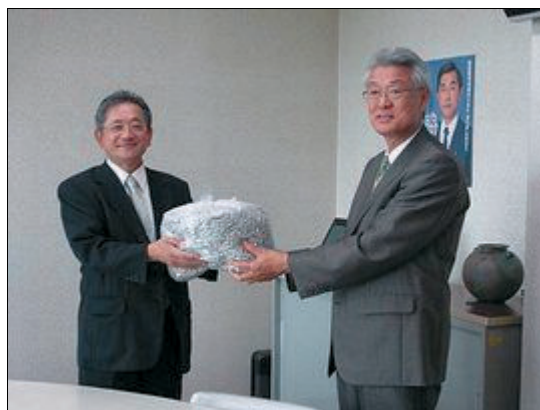
玄関先の雪庇落とし



### ■空き缶リングプルの収集活動

もうひとつの福祉活動として、車椅子との交換を目的とした空き缶リングプルの収集活動を行っている。

これは、空知建設業協会が窓口となって始めた取り組みで、同社もその趣旨に賛同して平成 18 年から参加しており、3 年間で 10kg を超えるリングプルを寄贈した。



空き缶リングプルの寄贈

### ■河川の草刈り清掃活動

平成 19 年に本店を岩見沢市に移転したことを契機に、「幾春別川（いくしゅんべつがわ）をよくする市民の会」に入会した。この会は、「親水」をキーワードに幾春別川の美化・保全に取り組んでおり、毎年数回、会員事業所の職員や市民らが参加して、川の周辺に植樹されたハマナスの下草刈りなどの草刈り清掃活動を行っている。



ハマナスの下草刈り作業

### ■サケの稚魚の飼育・放流活動

「幾春別川をよくする市民の会」ではサケの稚魚の飼育・放流活動も行っており、毎年 12 月初旬には、2 万個ほどのサケの発眼卵を会員有志に配付している。

同社も事務所内に設置した水槽の中でそれらの卵を孵化させ、4 月に開催される放流会まで大切に飼育している。孵化は 12 月末から 1 月初めまで続き、その間は水換えなどを頻繁に行い、水温は常時 8 度に保つ必要がある。放流会の頃には稚魚の体長は 4～5cm に成長している。

4 月中旬になると、市内の保育園児や小中学生、会員事業所の職員や河川管理者など毎年 700 人余りが参加して、幾春別川で稚魚の放流会が行われる。この放流により、幾春別川におけるサケの遡上も確認されており、市民を喜ばせている。



サケの稚魚飼育



子どもたちによるサケの稚魚放流

### 3. 2 協会・支部等の活動事例

各地の建設業協会や支部・部会は、豪雨災害の復旧や防災支援を始め、各種催し等による住民とのふれあい、河川・道路清掃や稚魚放流などの環境美化・保全、地域の防犯活動など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

平成 21 年度に顕彰した協会・支部等のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 20 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	富山県	(社)富山県建設業協会 砺波支部	南砺市豪雨災害の復旧活動
A2-01	滋賀県	(社)滋賀県建設業協会 長浜支部	地域の防災訓練への継続的支援
A3-01	秋田県	(社)秋田県仙北建設業 協会建友会	「角館の桜まつり」での交通誘導
A3-02	栃木県	(社)栃木県建設業協会 那須支部	「よささウオーク」の開催とCCI活動
A4-01	長野県	(社)長野県建設業協会 中高支部	「信州ふるさとの道ふれあい事業」への参加
A4-02	岐阜県	(社)岐阜土木工業会	竹林整備、打ち水大会などの環境整備活動
A4-03	三重県	(社)三重県建設業協会 尾鷲支部	清掃奉仕活動と「七夕まつり」の会場設営
A4-04	石川県	(社)小松能美建設業協 会	「梯川水系クリーン作戦」への参加
A4-05	京都府	(社)京都府建設業協会 宇治支部	「クリーン宇治運動」参画による美化活動
A4-06	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会 南但支部青年部会	歩道橋の清掃と「鹿よけ」設置
A4-07	山口県	(社)山口県建設業協会 美弥支部	厚狭川の草刈り・清掃奉仕活動
A4-08	福岡県	(社)福岡県建設業協会	「勤マルの日」の清掃奉仕活動
A5-01	秋田県	(社)雄勝建設業協会建 究会	不法投棄物クリーンアップ活動への参加
A5-02	熊本県	(社)熊本県建設業協会 人吉支部	アユの稚魚放流による環境保全活動
A6-02	長野県	(社)長野県建設業協会 上小支部	建設旗争奪「1年生野球大会」の開催
A6-03	静岡県	(社)静岡建設業協会	献血運動の継続実施
A6-04	高知県	(社)高知県建設業協会	夜間や通学時の地域防犯活動
A7-01	新潟県	(社)新潟県建設業協会 糸魚川支部	土木出前講座の開催
A7-02	新潟県	(社)新潟県建設業協会 十日町支部	「十日町雪まつり」の雪像舞台製作
A7-03	静岡県	(社)袋井建設業協会	親子現場見学会と高校生現場体験実習の開催



## (1) 災害復旧支援活動

協会及び支部等の災害復旧支援活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	富山県	(社)富山県建設業協会 砺波支部	南砺市豪雨災害の復旧活動

### 事例 A1-01：富山県

#### 南砺市豪雨災害の復旧活動（(社)富山県建設業協会砺波支部）

平成20年7月28日未明、富山県西部を襲った集中豪雨により、南砺市では各所で道路の陥没や土砂崩れが発生し、3地区50世帯が孤立状態となった。また、山田川、太谷川等の護岸が決壊し、住宅の全半壊11棟、床上・床下浸水155棟など大きな被害をもたらした。

富山県建設業協会砺波支部では、県や市との災害協定に基づき、いち早く緊急出動態勢を整え、各社が分担して管内土木施設のパトロールにあたり、道路や河川の異常を発見した場合は、直ちに携帯メール等で県土木センターに報告した。

翌29日からは、孤立集落に通じる国道、県道の応急復旧工事、法面からの崩落土の流出防止対策等に従事するとともに、浸水家屋の土砂の撤去、家財の後片付け等にも精力的に取り組み、住民生活の早期回復に尽力した。

その後、道路復旧が進み、被災地の状況が明らかになるにつれ、農地や山林等の被害が約2,400箇所にも及ぶことが判明した。南砺市の要請を受けた会員各社は、約1ヶ月にわたり延べ165人を動員して国の災害査定のための測量作業に協力し、査定作業の早期完了に貢献した。



南砺市内の道路被害



寸断された道路の応急復旧工事

## (2) 防災支援活動

協会及び支部の防災支援活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A2-01	滋賀県	(社)滋賀県建設業協会 長浜支部	地域の防災訓練への継続的支援

### 事例 A2-01：滋賀県

#### 地域の防災訓練への継続的支援（(社)滋賀県建設業協会長浜支部）

滋賀県建設業協会長浜支部は、平成 13 年より、地元自治体が開催する各種の防災訓練に積極的に参加して、資機材や重機の提供、訓練時の補助作業など、継続的な支援を行っている。

平成 20 年度は、9 月に行われた滋賀県総合防災訓練（長浜市）及び米原市総合防災訓練（米原市）において、建物倒壊現場からの救出・救助訓練、土砂による埋没車両からの救出・救助訓練に重機を提供して参加した。また、過去には、堤防損壊現場の復旧訓練、水防訓練現場の設営、大型水のう工訓練なども経験している。

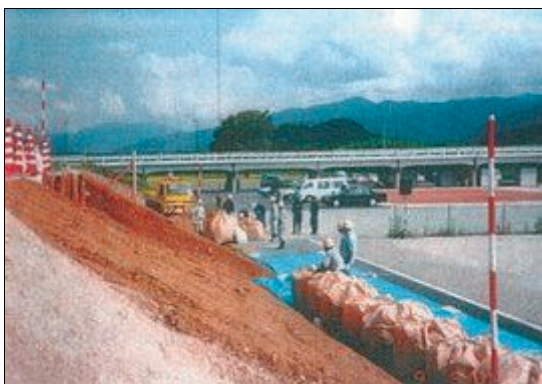
各地の自治体では、阪神淡路大震災を契機に、住民の防災意識の更なる向上を目指して、各種災害を想定した防災訓練を強化しており、建設業界には、災害時の支援活動を円滑に進めるため、こうした訓練への積極的対応が求められている。



建物倒壊現場からの救出訓練



転落車両の救出訓練



堤防損壊現場の復旧訓練



土砂埋没車両からの救出訓練



### (3) 建設業ふれあい活動

協会及び支部の建設業ふれあい活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A3-01	秋田県	(社)秋田県仙北建設業協会建友会	「角館の桜まつり」での交通誘導
A3-02	栃木県	(社)栃木県建設業協会那須支部	「よささウオーク」の開催とCCI活動

#### 事例 A3-01 : 秋田県

#### 「角館の桜まつり」での交通誘導 ((社)秋田県仙北建設業協会建友会)

秋田県仙北市の角館は、「みちのくの小京都」と呼ばれ、武家屋敷の静かな町並みで有名であるが、春を迎えると武家屋敷通りのしだれ桜が一斉に咲き誇り、全国から「桜まつり」に訪れる観光客で大混雑となる。

秋田県仙北建設業協会の会員企業の若手経営者らで組織する「建友会」は、「角館の桜まつり」による交通渋滞を少しでも緩和しようと、平成16年より毎年、会場周辺の交通誘導ボランティアを実施している。

平成20年度は、4月21日から25日までの5日間、会員企業33社から53人が参加して、県内外の観光バスの誘導や、自家用車の臨時駐車場への案内などを行った。

「建友会」は、建設業にとって地域への貢献が最も重要と考えており、今後もこうしたボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいとしている。



角館武家屋敷通りのしだれ桜  
(仙北市ホームページより)



「桜まつり」周辺の臨時駐車場での車両誘導

## 「よささウオーク」の開催とCCI活動（社）栃木県建設業協会那須支部）

栃木県建設業協会那須支部は、地域の人々に建設業をより身近に感じてもらうことが大切であると考え、毎年さまざまな住民とのふれあい活動を実施している。

### ■「よささウオーク」の開催

同支部会員をメンバーとする「余笹川流域連携ネットワーク」は、平成 10 年の那須水害の復旧 10 周年記念行事として、余笹川の河川敷を歩く「よささウオーク 2008」を開催した。このイベントには、県内外から約 550 人が参加し、往復 20km のコースを思い思いのペースで歩き、完歩者には各種の景品が贈られた。

### ■跨線橋でのお絵かき大会の開催

「CCI とちぎ」(魅力ある建設事業推進協議会) 事業の一環として、地元小学校の全校児童と引率者を含む約 500 人を招き、舗装前の西那須野跨線橋の大きな橋面をキャンパスに見立てて、水族館のお絵かき大会を開催した。この活動は地元新聞にも大きく取り上げられ、生徒たちの楽しい思い出づくりとともに、社会資本の必要性のPRにつながった。



跨線橋でのお絵かき大会

### ■インターチェンジ開通イベントの共催

東北自動車道に新設された黒磯板室インターチェンジの開通記念イベントを、那須塩原市と共同で開催した。このイベントには、地元住民約 300 人が参加し、小学生の鼓笛隊が先導する進入路の記念ウォーキングや、牛乳の配布、建設用車両の展示と試乗体験などを行い、建設構造物に対する市民の理解を深めた。



跨線橋に現れた水族館



インターチェンジ開通記念ウォーキング



高所作業車の試乗体験

#### (4) 環境美化活動

協会及び支部の環境美化活動として、次の8事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A4-01	長野県	(社)長野県建設業協会 中高支部	「信州ふるさとの道ふれあい事業」への参加
A4-02	岐阜県	(社)岐阜土木工業会	竹林整備、打ち水大会などの環境整備活動
A4-03	三重県	(社)三重県建設業協会 尾鷲支部	清掃奉仕活動と「七夕まつり」の会場設営
A4-04	石川県	(社)小松能美建設業協会	「梯川水系クリーン作戦」への参加
A4-05	京都府	(社)京都府建設業協会 宇治支部	「クリーン宇治運動」参画による美化活動
A4-06	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会 南但支部青年部会	歩道橋の清掃と「鹿よけ」設置
A4-07	山口県	(社)山口県建設業協会 美弥支部	厚狭川の草刈り・清掃奉仕活動
A4-08	福岡県	(社)福岡県建設業協会	「勤マルの日」の清掃奉仕活動



## 「信州ふるさとの道ふれあい事業」への参加（(社)長野県建設業協会中高支部）

長野県建設業協会中高支部は、平成 18 年に県・市との間で「信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトロードシステム）協定書」を取り交わし、以来毎年、中野市内の国道の環境美化活動を実施している。

この事業協定は、民間事業者が一定区間の道路の「里親」となって、その区間の植樹帯の美化清掃作業等を行い、自治体は連絡調整、用具の貸与、材料の支給、ゴミ処理等を行う仕組みである。また、事業者が活動区間の道路施設の異常を発見した場合は、自治体に連絡することになっている。

平成 20 年度は、6 月に花壇整備と花の植栽、11 月に花の植栽を行った。

花の植栽については、協定書に則って毎回 20 人程度の地域住民の参加を得て行われ、植栽後は、支部会員が 1 週間交代の当番制で、毎日除草、散水などの手入れを行っている。

同支部のこうした美化活動は、平成 18 年には中野市景観賞（花づくり緑化部門）を受賞するなど、地域住民からも高く評価されている。また、志賀高原への玄関口に位置する中野市は、観光客の訪問も多く、季節の花に彩られた花壇は、訪問客に対する地域のイメージアップにもつながっている。



花壇の整備



花の植栽



植栽された花壇



中野市からの表彰状

## 竹林整備、打ち水大会などの環境整備活動（(社)岐阜土木工業会）

岐阜土木工業会は、各地区の会員が参加する大規模な清掃活動のほか、竹林の整備や夏場の打ち水活動など、地域の環境整備活動に取り組んでいる。

地域の清掃活動は毎年継続して実施しており、平成 20 年度は、岐阜地区の 2,777 人をはじめ、各地区合わせて約 4,000 人が参加して、会員各社の事務所や工事現場の周辺道路、河川などの清掃を行った。

また、岐阜土木事務所の協力の下、平成 16 年度から実施されている長良川右岸千鳥橋上流の竹林整備のボランティアにも参加している。平成 20 年度は、会員企業から 92 人が参加して、ノコギリ、ナタを用いて、交通障害となりそうな竹の伐採と間伐を行った。

さらに平成 18 年度からは、地球温暖化への取組みの一環として、夏場に打ち水大会を開催している。3 回目となる平成 20 年度は、炎天下の岐阜駅をはじめ各地で開催され、地域住民を含めた約 500 人の参加者が、雨水や井戸水約 5,000 リットルを打ち水した。

同会は、地域に密着し、住民に信頼される建設業者を目指して、今後もこうした取組みをさらに充実させていく考えである。



河川沿いの竹林整備



真夏の打ち水大会



## 清掃奉仕活動と「七夕まつり」の会場設営（(社)三重県建設業協会尾鷲支部）

三重県建設業協会尾鷲支部では、三つの地区協会及び青年部が、毎年それぞれの地区に合わせた環境美化活動を実施している。

### ■河川敷や堤防の草刈り清掃

紀北町建設業協会紀伊長島支部では、7月15日、約50人が参加して、燈籠祭や花火大会が行われる赤羽川河川敷の草刈り清掃を行った。雑草は人の背丈よりも高く生い茂っており、これを草刈り機とミニパワーショベル4台で刈り取って、大型クレーンを用いて搬出した。

同協会海山支部では、7月19日、64人の参加者が2班に分かれ、地域住民のウォーキングコースとなっている船津川堤防沿いと銚子川河川敷の草刈り清掃を行った。



赤羽川河川敷の草刈り清掃



船津川堤防の草刈り清掃

### ■「尾鷲港まつり」会場周辺の清掃

尾鷲市建設業協会では、毎年8月に行われる「尾鷲港まつり」に合わせて、会場周辺のゴミ拾いや、岸壁に放置されている古タイヤ、自転車等の粗大ゴミなどの回収を行った。

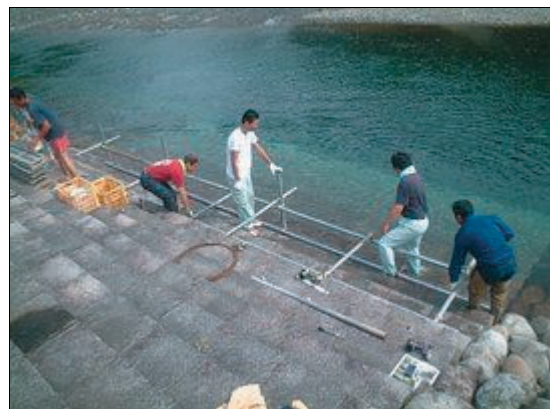
### ■「きほく七夕まつり」の会場設営

支部青年部では、7月に行われる地元の「きほく七夕まつり」に参加・協力するとともに、まつり会場となる足場の組立て作業を行った。

重機やダンプ等の機動力を生かした建設業ならではのこうした活動には、地域住民からも大きな期待と感謝の声が寄せられている。



「尾鷲港まつり」会場周辺のゴミ拾い



「きほく七夕まつり」の会場設営



### 「梯川水系クリーン作戦」への参加（(社)小松能美建設業協会）

石川県南部の小松・能美地区は、日本海側最大の空の玄関小松空港を擁するとともに、霊峰白山を望む木場潟や梯（かけはし）川及びその水系を中心とした風光明媚な土地柄であり、これらは地域住民にとっての大きな財産となっている。

小松能美建設業協会は、こうした地域財産を守ろうと、平成 16 年度より、梯川沿岸の町内会、学校、各種団体等と連携して、「①美しい川を守り育てる、②川に集まり賑わう、③川に学び触れ合う」をテーマに、清掃活動を実施してきた。

この活動は、平成 19 年 3 月には、「梯川水系クリーン作戦統一デー」として、小松市内の梯川水系全域（梯川、鍋谷川、八丁川、前川、木場潟）にわたる事業に拡大し、同協会は、後援団体としてこの事業を支えることになった。

平成 20 年度は、3 月 22 日を「統一デー」と定め、約 5,000 人が参加する大規模な活動が展開された。同協会の会員は、早朝の一斉清掃に参加するとともに、地区毎に割り当てられた担当会社が、国や自治体の協力のもと、集積されたゴミの収集・運搬作業を行った。

「梯川水系クリーン作戦」は、地域全体の水辺環境の保全と、住民の環境意識の向上に役立つキャンペーン活動として、自治体からも高い評価を得ている。

同協会は、こうした活動への参加を通じて、魅力ある地域づくりに貢献するとともに、建設業に対する住民の理解をより一層深めたいと考えており、今後も積極的に取り組んでいきたいとしている。



梯川河川敷の一斉清掃



梯川堤防の一斉清掃



集積されたゴミの収集・運搬

## 「クリーン宇治運動」参画による美化活動（社）京都府建設業協会宇治支部

京都府南部を流れる宇治川の景観は、「歴史文化都市」宇治市にとって重要な財産であり、この景観を守り育てる市民活動も活発に行われている。その代表的な活動が、昭和 49 年から続いている「クリーン宇治運動」であり、春・夏・秋の年 3 回行われる一斉清掃には、毎年多くの市民が参加している。

京都府建設業協会宇治支部は、「クリーン宇治運動推進協議会」の結成当初よりこの運動に参画しており、宇治川及び周辺道路の美化啓発をはじめ、会員各社の事務所周辺の清掃や緑化推進などに精力的に取り組んできた。また、年 3 回の一斉清掃では、会員企業が 2t トラックを提供して、各地でゴミの回収作業を行っている。



宇治川の景観

(宇治市ホームページより)

「クリーン宇治運動」における同支部の積極的な行動は、自治体や地元関係者からも高く評価されており、平成 19 年には、府民運動の輪を広げることに尽力した功績により、京都府から表彰状が贈られた。



宇治川周辺の歩道上のごみ収集



京都府からの表彰状



## 歩道橋の清掃と「鹿よけ」設置 ((社)兵庫県建設業協会南但支部青年部会)

兵庫県建設業協会南但支部青年部会は、平成 15 年の発足以来、毎年全会員が参加して、南但地区（朝来市～養父市）で広範囲な清掃奉仕活動を実施している。

平成 16 年 7 月には、朝来市の円山川右岸河川敷において、大規模な草刈り清掃活動を行った。この河川敷は、朝来市の夏祭り会場であり、お年寄りの憩いの場、若者のオートキャンプ場としても利用されている。

また、同年 10 月の台風 23 号による円山川の増水時に、河川敷の竹藪が川の流れの大きな障害となったため、翌年からは、毎年台風シーズン前に竹藪の伐採を行うことにした。平成 17 年 7 月には、重機 3 台を投入して 11t ダンプ 30 台分の竹を伐採し、翌 18 年 6 月と 9 月にも同様の伐採を行った結果、円山川河川敷はすっきりと視野が広がり、安全な環境を取り戻した。伐採した竹は農作業に利用できるため、地元住民にも喜ばれた。

平成 20 年度は、7 月に、朝来市、養父市の国道に架かる歩道橋 7 箇所清掃と、鹿が出没する県道沿いで「鹿よけ」の設置を行った。

地元小学校の通学路となっている歩道橋には、土が付着して雑草が生えており、これをデッキブラシで取り除き、高圧洗浄機で洗い流してきれいに拭き取った。

また、鹿と車の衝突事故が多い朝来市の円山川右岸の県道沿いに、「鹿よけ」用に開発された竹筒を設置した。この竹筒は、内部に鹿が嫌う臭いの成分を染みこませた製品で、これを 2m 間隔で地面に打ち込むことで、鹿を遠ざける効果があるといわれている。

同部会は、今後も地域のさまざまな問題を解決するために、効果的な方法を考え、実践していく方針である。



歩道橋の清掃



県道沿いの「鹿よけ」設置



「鹿よけ」用竹筒

## 厚狭川の草刈り・清掃奉仕活動（(社)山口県建設業協会美弥支部）

山口県美弥市の中心部を流れる厚狭川は、市民の憩いの場として親しまれており、特に、河川敷の両側に植えられた約 150 本のソメイヨシノが花開く時期には、「みね桜まつり」の会場としてたいへんな賑わいを見せる。

山口県建設業協会美弥支部では、厚狭川の良い環境を保つため、平成 5 年より、毎年 7 月の河川愛護県民運動に合わせて、美弥市職員やボランティア団体と協力して、厚狭川の草刈り・清掃奉仕活動を実施している。

平成 20 年度は、暑さも本番となった 7 月 23 日、川沿いの道路約 1 km を各社で分担して、草刈りとごみ収集作業を行った。当日は、会員 14 社から約 60 人が参加し、支部長や幹部らを先頭に、朝 8 時から一斉に草刈り清掃作業を開始した。刈り取った草や収集したゴミは、会員のダンプトラック 5 台で次々と搬出していった。

小学生の通学路となっている厚狭川沿いの道路は、この時期、雑草が子どもたちの背丈を越えるほど伸びて見通しが悪くなっていたが、草刈り後は見違えるほどすっきりとして、子どもたちも安心して通ることができるようになった。



厚狭川沿いの草刈り



刈り取った草の集積



ダンプトラックでの搬出



## 「勤マルの日」の清掃奉仕活動（社）福岡県建設業協会

福岡県建設業協会は、CSR（企業の社会的責任）活動の一環として、会員企業の積極的な協力のもと、各種の環境美化活動に取り組んでいる。

平成20年度は、「勤マルの日」の清掃奉仕活動、河畔公園の花壇整備と周辺の一斉清掃などを行った。

### ■「勤マルの日」の清掃奉仕活動

7月20日、地元のNPO法人らが提唱する「勤マルの日」の自主活動として、会員企業から社員と家族約170人が参加して、福岡市の祖原公園で清掃活動を行った。「勤マルの日」とは、勤労者のマルチライフを支援するため、誰でも気軽に参加できる拠点ボランティアと、企業などの自主活動とを併せて行う福岡独自のイベントである。

### ■河畔公園の花壇整備と一斉清掃

同協会は、福岡市の室見川河畔公園に花壇を設置して、定期的に整備している。平成20年度は、会員企業から15人が参加して、6月7日に花の植替えを行った。花壇の日常管理は、地元町内会が引き受けており、協会と地域住民との協働の場として貴重な活動となっている。

また、室見川河畔公園に落ち葉が目立つようになった11月29日、会員企業の社員と家族約300人が参加して、公園と遊歩道及び周辺の一斉清掃を行った。



「勤マルの日」参加案内



「勤マルの日」の公園清掃



室見川河畔公園の花壇の植替え



室見川河畔公園周辺の一斉清掃

## (5) 環境保全活動

協会及び支部の環境保全活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A5-01	秋田県	(社)雄勝建設業協会建 究会	不法投棄物クリーンアップ活動への参加
A5-02	熊本県	(社)熊本県建設業協会 人吉支部	アユの稚魚放流による環境保全活動

### 事例 A5-01 : 秋田県

#### 不法投棄物クリーンアップ活動への参加 ((社)雄勝建設業協会建究会)

雄勝建設業協会の会員企業の若手経営者らで組織する「建究会」は、秋田県が主催する「雄勝地域不法投棄一掃対策連絡協議会」に構成員として参画し、不法投棄物の回収作業に重機、運搬車両を提供するとともに、会員もクリーンアップ活動に積極的に参加している。

雄勝地域で判明している不法投棄箇所は49箇所を超えるが、このうち平成20年度は、処理困難廃棄物(特定家電品、廃タイヤ等)の投棄箇所及び多量投棄箇所での撤去作業を重点的に実施することになった。

10月11日に行われた湯沢市の林道糸六線沿いのクリーンアップ活動には、「建究会」の会員企業から26人が参加し、不法投棄物の回収・撤去作業を行った。また、4tユニック車2台で大型家電、農機具等の重量廃棄物の引き上げや金属くずの運搬を行い、2tダンプ2台で粗大ゴミ、不燃ごみ等の運搬を行うなど、精力的に環境保全活動に取り組んだ。



林道糸六線沿いの不法投棄箇所



投棄物の回収・撤去作業



ユニック車とダンプへの積み込み



アユの稚魚放流による環境保全活動（(社)熊本県建設業協会人吉支部）

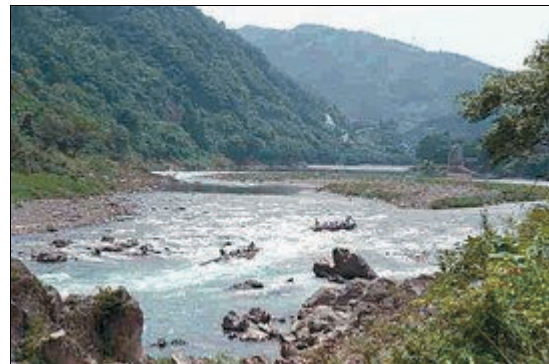
熊本県南部の人吉盆地を流れる球磨川は、日本三大急流の一つに数えられ、球磨川下りやラフティングのほか、大型のアユが釣れることでも全国的に有名である。

熊本県建設業協会人吉支部は、支部内に環境委員会を設置して、環境保全活動に積極的に取り組んできたが、平成 19 年からは、清流球磨川の自然を守るために「アユの稚魚放流事業」を始めた。

この事業は、毎年春に地元の子どもたちを招いて、球磨川の河川公園でアユの稚魚を放流するイベントで、地域環境の保全とともに、子どもたちに命や自然の大切さを感じてもらい、環境への関心を高めてもらうことを目的としている。

平成 20 年度は、4 月 28 日、会員企業から約 50 人が参加し、招待した地元保育園児 23 人とともに、中川原河川公園で 3 万匹の稚魚を放流した。

同支部は、こうした活動を通じて、自然環境に配慮しながら地域の発展に尽力している建設業の姿を、市民にアピールしていきたいと考えている。



清流球磨川  
(人吉市ホームページより)



園児らによるアユの稚魚放流



園児らによるアユの稚魚放流



自然環境保護PRの横断幕前で

## (6) 社会福祉活動

協会及び支部の社会福祉活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A6-02	長野県	(社)長野県建設業協会 上小支部	建設旗争奪「1年生野球大会」の開催
A6-03	静岡県	(社)静岡建設業協会	献血運動の継続実施
A6-04	高知県	(社)高知県建設業協会	夜間や通学時の地域防犯活動

### 事例 A6-02 : 長野県

#### 建設旗争奪「1年生野球大会」の開催 ((社)長野県建設業協会上小支部)

長野県建設業協会上小支部は、平成8年より毎年、地域の中学1年生による「建設旗争奪・上小中学1年生野球大会」を開催している。

この大会は、普段の試合では準備や球拾いだけで出場機会が少ない1年生に、実戦経験を積む場を提供しようと始めた大会で、野球技術の向上はもちろん、学校間の交流とスポーツを通じての青少年の健全育成を目的としている。

13回目となる平成20年度は、11月1日、2日の2日間、上小地区(上田市と小県郡)の13の中学校の1年生チームが参加して、東御市営グラウンドなどで熱戦を繰り広げた。見事勝ち上がった優勝チームには支部長が建設旗を手渡し、健闘を称えた。

この大会では、先輩が後輩選手に全力でエールを送る姿が名物となっており、1年生はこの大会を目標に日頃の練習に励んでいる。

また、この野球大会は回を重ねるにつれて地域行事として定着し、学校関係者、父兄はもちろん地域住民からも高い評価と感謝の声が寄せられている。



「1年生野球大会」選手宣誓



支部長による始球式



「1年生野球大会」優勝チーム



献血運動の継続実施（社）静岡建設業協会

静岡建設業協会では、毎年初夏と、血液が不足しがちな晩秋の2回、会員企業の協力を得て献血運動を実施している。

平成20年度は、同協会の駐車場に採血車を招いて実施し、6月12日に73人、11月20日に59人が献血に協力した。

この献血運動は、昭和51年に開始して以来30年以上続いており、過去に静岡県、厚生省、日本赤十字社などから多数の感謝状が贈られている。

同協会では、献血運動のほかにも、河川等の除草・清掃活動、稚アユの放流などの自然保護活動、高校生の現場実習の受入れなど、日頃から積極的に社会奉仕活動を実施しており、地域住民からも高く評価されている。



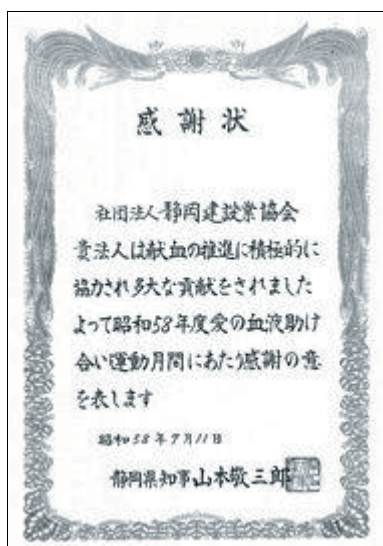
献血の案内



採血車の設置



献血状況



静岡県からの感謝状



日本赤十字社からの銀色有功章

### 夜間や通学時の地域防犯活動（社）高知県建設業協会

高知県建設業協会は、より安全で、安心できる地域づくりの一環として、平成 20 年度より、夜間や通学時の「地域防犯活動」を開始した。

この活動は、子どもを狙った犯罪の抑止と通学時の事故防止を目的として、協会の役職員及び会員企業が、夜間に定期的な防犯パトロールを行い、朝夕の通学時には子どもたちの見守り、交通安全指導などを行う活動である。活動の範囲、回数、具体的な方法等は、会員各社が実情に合わせて自主的に定めているが、活動地域の町内会や、学校等の反響は大きく、自治会便り・学校通信などを通じて数々の感謝の言葉が寄せられている。

同協会では、この活動を県下全域に広げることで、建設業が地域を守る産業として自衛隊や消防、警察に準ずる存在であることを示し、社会的評価を確立したいと考えている。さらに、公共事業や建設業界の役割が国民・社会に正しく理解され、地域住民からより感謝される業界となることを目標に、今後もこうした努力を続けていきたいとしている。



協会の役職員らによる夜間の防犯パトロール



通学路での見守りと交通安全指導



## (7) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動

協会及び支部の啓蒙・イメージアップ活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A7-01	新潟県	(社)新潟県建設業協会 糸魚川支部	土木出前講座の開催
A7-02	新潟県	(社)新潟県建設業協会 十日町支部	「十日町雪まつり」の雪像舞台製作
A7-03	静岡県	(社)袋井建設業協会	親子現場見学会と高校生現場体験実習の開催

### 事例 A7-01：新潟県

#### 土木出前講座の開催 ((社)新潟県建設業協会糸魚川支部)

新潟県建設業協会糸魚川支部では、毎年11月の土木の日に合わせて、小学生を対象とした土木出前講座「わたしたちのくらしと土木の働き」を開催している。

これは、小学生に建設業の楽しさを知ってもらい、将来への夢と勇気を与えようと、糸魚川地域振興局と協力して平成10年に始めたイベントで、以来毎年2校ずつ訪問して開催している。

11回目となる平成20年度は、11月26日に市内の木浦小学校と磯辺小学校で開催した。当日は、教室で土木の働きなどの説明を行った後、グラウンドに出て大小のロータリー除雪車や大型クレーン車な



土木の働きの授業

などの見学や試乗を行った。砂山を雪に見立てた模擬除雪作業や、油圧ショベルによる習字のパフォーマンスなども行われ、児童からは大きな拍手がわき起こった。

また、教室で勉強した「レベル」を実際に使った測量体験では、正しく測定できた児童に賞品が贈られるなど、建設業の仕事と触れ合う楽しい一日となった。



重機の見学と試乗

## 「十日町雪まつり」の雪像舞台製作（社）新潟県建設業協会十日町支部

「十日町雪まつり」は、昭和 25 年に全国に先駆けて始まった市民参加型の手作りの祭りで、ギネスブックにも認定された世界最大級の「雪像舞台」を中心に市内一円が会場と化し、毎年 30 万人の人手で賑わう一大イベントである。

3 日間のまつりの中日となる土曜日の夜には、雪像舞台の上で華やかな着物ショーや音楽ライブ、幻想的な花火による雪上カーニバルが繰り広げられ、来場者を魅了している。



「十日町雪まつり」の雪上カーニバル

新潟県建設業協会十日町支部は、昭和 60 年より毎年、この雪像舞台の製作を担当しており、裏方として「十日町雪まつり」を盛り上げている。

平成 21 年 2 月に開催された第 60 回雪まつりにおいては、60 回記念開催にふさわしい舞台として、十日町で発掘された国宝火焰型土器をモチーフとした舞台「未来へつなぐ愛の炎」を製作した。例年に比べて暖冬少雪であったため、10t ダンプ 1,900 台分の雪を会場に運び込んで重機で積み上げながら、22 日間で延べ 545 人を動員して、高さ 15m、幅 35m、奥行 25m の巨大な雪像舞台を作り上げた。

この雪像舞台製作は、建設業ならではの機動力を生かした活動として地元関係者の評価も高く、建設業のイメージアップに大きく貢献している。



舞台上の雪像製作



完成間近の雪像舞台「未来へつなぐ愛の炎」



## 親子現場見学会と高校生現場体験実習の開催（社）袋井建設業協会

袋井建設業協会は、地域の社会生活や産業活動の基盤づくりを担う建設業の仕事を、広く地域の人々に理解してもらうため、定期的に親子現場見学会、高校生の現場実習体験、広報誌の発行などを行っている。

### ■親子現場見学会の開催

平成 15 年度から毎年、一般の親子や会員の家族を対象に「親子現場見学会」を開催している。平成 20 年度は、8 月 22 日に森町の太田川ダム建設現場に親子 20 組を招き、完成間近のダム堤体の見学やコンクリート作り体験などを行った。

### ■高校生現場体験実習の開催

地元高校生を対象に、現場での作業や社会人としてのルールを体験してもらう現場体験実習を実施している。平成 20 年度は、9 月 9 日から 4 日間、磐田農業高校の生徒 20 人が、会員 8 社の現場に分かれて測量などの作業を体験した。

### ■広報誌の発行

公共施設に関する技術や歴史、建設業の活動などを紹介する広報誌（8 ページ）を年 3～4 回のペースで発行している。

同協会は、こうした活動のほかにも、防災訓練、河川・道路清掃、海岸保全などの活動に積極的に取り組んでいる。



太田川ダム親子現場見学会



太田川ダム親子現場見学会



広報誌「つちおと」



高校生の現場測量実習

### 3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先に考えて、災害時には先頭に立って復旧活動に従事するとともに、日頃から地域とのふれあい活動や、環境美化・保全活動、社会福祉活動などにも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地元企業ならではの工夫により、住民にもたいへん喜ばれ、建設業のイメージアップにつながっています。

平成 21 年度に顕彰した会員企業のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 21 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	宮城県	野口建設(株)	岩手・宮城内陸地震災害の復旧活動
B1-02	島根県	(株)原工務所	岩手・宮城内陸地震災害の復旧支援
B2-01	青森県	(株)一矢産業	地元中学生の職場体験学習の受入れ
B2-02	兵庫県	(株)田村組	工事用車両・重機ふれあいイベントの開催
B3-01	北海道	堀松建設工業(株)	観光牧場の花壇・散策路の整備
B3-02	宮城県	(株)佐藤建設	スマイルサポーターとしての清掃奉仕活動
B3-03	群馬県	沼田土建(株)	憩いの公園や通学路の早朝清掃活動
B3-04	長野県	(株)三六組	公共施設の植栽保全・清掃奉仕活動
B3-05	静岡県	(株)水野組	「倉松クリーン運動」による道路清掃活動
B3-06	愛知県	名工建設(株)	「新川クリーンアップ運動」への参加
B3-07	石川県	能登建設(株)	海岸・道路清掃活動と荒廃農地の草刈り
B4-01	愛知県	(株)加藤建設	水郷の里蟹江でホテルが飛ぶ環境の整備
B5-02	青森県	上北建設(株)	冬期の通学路確保のための歩道の除雪活動
B5-03	岩手県	(株)小原建設	「かけっこ体育館」で子育て支援
B5-04	宮城県	(株)深松組	青色回転灯を用いた地域の防犯パトロール
B5-05	福島県	陰山建設(株)	全国屈指の大規模な献血運動
B5-06	静岡県	(株)増田組	学童の交通安全支援と県道の美化活動
B5-07	三重県	水谷建設(株)	地元学区における「こども 110 番」活動
B5-08	広島県	錦建設(株)	「献血サポーター」としての献血普及活動
B6-01	北海道	明盛建設(株)	釧路湿原自然再生ミニ資料館の開設
B6-02	和歌山県	三友工業(株)	建設現場での仮囲い壁画大会の開催

## (1) 災害復旧支援活動

会員企業の災害復旧支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	宮城県	野口建設(株)	岩手・宮城内陸地震災害の復旧活動
B1-02	島根県	(株)原工務所	岩手・宮城内陸地震災害の復旧支援

### 事例 B1-01：宮城県

#### 岩手・宮城内陸地震災害の復旧活動（野口建設(株)）

平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」では、各地で大規模な土崩れや地すべり、土石流が発生し、ライフラインが寸断された。

震度6強を観測した宮城県栗原市の野口建設(株)は、国や自治体と締結している緊急災害時の応急対策業務協定を踏まえ、地震発生直後から道路パトロールを行って被害状況を確認するとともに、社員を待機させて緊急要請に備えた。

その後、4回にわたる要請に応じて、崩落土砂の撤去、河道の倒木処理、道路段差や陥没箇所への応急復旧、橋梁の補強、危険箇所へのバリケード設置など、24時間体制で作業に当たった。

各機関からの出動要請に対しては、出動場所、作業内容、必要資機材等を「対応指示票」に記載して伝達することで、的確でスムーズな対応が可能であった。

また、携帯電話が繋がらないことを想定して、主要な車両には無線を配備してあったため、現場との連絡も支障なく行うことができた。重機械、運送、資材、保安機材の専門会社が、グループ企業や協力会社となっていたことも、迅速な活動に有利であった。

同社は、今後も定期的な訓練などで、緊急時の初動体制を磨いていく考えである。



栗駒沼倉地区の地すべり



崩落土砂の撤去作業



24時間体制での復旧活動



## 岩手・宮城内陸地震災害の復旧支援（株）原工務所

平成 20 年 6 月 14 日の「岩手・宮城内陸地震」により、震源に近い岩手県一関市の磐井川と宮城県栗原市の迫（はさま）川では、崩落した土砂で川がせき止められる河道閉塞（天然ダム）が数箇所が発生し、決壊による二次災害を防止するために緊急な対策が必要となった。

島根県江津市の（株）原工務所は、国土交通省中国地方整備局の要請を受けて、同局所有の排水ポンプ車 1 台を宮城県栗原市の浅布地区まで緊急輸送し、天然ダムの排水活動に間に合わせた。

地震発生 5 日後の 6 月 19 日午後 1 時、緊急要請を受けた同社は、直ちに運転要員 2 名の確保と排水ポンプ車輸送の準備に取りかかり、午

後 5 時には浜田河川国道事務所から被災地に向けて出発した。その後 19 時間、昼夜を徹しての運転で、約 1,300km の道のりを輸送して、翌 20 日正午には無事現地に到着し、排水ポンプ車を現地担当者に引き渡した。

同社の迅速な対応は、関係者からも高く評価され、岩手・宮城内陸地震の被災地域の早期の応急復旧に大きく貢献した功績により、中国地方整備局から感謝状が贈られた。



宮城県栗原市浅布地区の土砂崩落



排水ポンプ車の出発式



中国地方整備局からの感謝状



## (2) 建設業ふれあい活動

会員企業の建設業ふれあい活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B2-01	青森県	(株)一矢産業	地元中学生の職場体験学習の受入れ
B2-02	兵庫県	(株)田村組	工事用車両・重機ふれあいイベントの開催

### 事例 B2-01：青森県

#### 地元中学生の職場体験学習の受入れ（(株)一矢産業）

(株)一矢産業は、地元の外ヶ浜町立平館中学校の教育方針「勤労観・職業観の育成」に全面的に賛同し、平成14年より毎年、1～2年生数名の職場体験学習を受け入れている。

平館中学校の職場体験学習は、生徒が事業所などで働く人々と直接接することにより、職場や社会のルールを学び、働くことの喜びや厳しさに目覚め、将来の生き方を考えるきっかけとすることを目的としている。また、実際の仕事を通じて自己の適性を見い出すことで、近い将来の進路決定に役立たせる狙いもある。

体験学習の対象となる産業はさまざまであるが、同社は、地元を代表する建設企業として、建設工事と公共施設に関する充実した研修プログラムを提供している。

生徒たちは、まず事業所内で基本事項を学んだ後、公共施設の施工現場2ヶ所を見学し、施設の役割や資材の特徴、機械・器具の仕様や用途について説明を受ける。特に建設機械については、停止した状態ながら試乗体験できるので、生徒たちには極めて好評である。さらに現場では、現場代理人やオペレーターなどが額に汗して働くことの意味や、職業資格を取得することの大切さなどを学ぶ。

また、道路・河川等の維持管理パトロールにも同行し、橋梁の点検作業等を実際に見ることで、安心・安全な生活を営む上での公共施設の重要性、それに関わる建設業の社会的責任について学ぶ。

体験学習を終えた生徒たちが書いた作文やレポートによれば、同社のプログラムの評価は高く、2年連続して同社での学習を希望する生徒も少なくない。



道路の凍雪害防止工事の学習



道路改築工事での盛土の学習

## 工사용車両・重機ふれあいイベントの開催（(株)田村組）

(株)田村組は、平成 19 年より、会社敷地内に地元の保育園児と保護者を招待し、工사용車輛や重機に親しむふれあいイベントを開催している。

これは、普段は見るのが少ない工사용車輛や重機を間近で見たり、試乗してもらいイベントで、子どもたちには楽しんでもらい、保護者には建設業に対する親近感と良いイメージを抱いてもらうことを目的としている。

平成 20 年度は、11 月 1 日、保育園児 21 人と保護者等 45 人を招待して開催した。会場内には、バックホウ、ブルドーザー、ロードローラー、ダンプトラック、高所作業車などさまざまな建設機械や車両を展示し、園児たちに試乗体験してもらった。そのほか、会場のテント内では、リモコン重機によるおやつ取りゲームなども行い、上手に操作できた園児たちは大喜びであった。

また同社は、建設工事現場の状況を広く一般の人々に理解してもらうため、平成 20 年度より、近隣住民を対象とした現場見学会を開催することにした。

日頃からご迷惑をおかけしている住民の方々に、工事現場での作業内容・施工工程を実際に見学してもらうことは、良好な近隣関係を維持するためにも有効である。

平成 20 年度は、姫路市の粟生川樋門築造工事の現場において、近隣住民 14 人の参加を得て開催し、建設中の施設見学のほか、構造物の出来上がる工程や、安全管理、品質管理への取り組みなどを説明し、工事に対する理解を深めてもらった。



ふれあいイベントでの重機の試乗体験



リモコン重機によるおやつ取りゲーム



粟生川樋門築造工事現場見学会

### (3) 環境美化活動

会員企業の環境美化活動として、次の7事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B3-01	北海道	堀松建設工業(株)	観光牧場の花壇・散策路の整備
B3-02	宮城県	(株)佐藤建設	スマイルサポーターとしての清掃奉仕活動
B3-03	群馬県	沼田土建(株)	憩いの公園や通学路の早朝清掃活動
B3-04	長野県	(株)三六組	公共施設の植栽保全・清掃奉仕活動
B3-05	静岡県	(株)水野組	「倉松クリーン運動」による道路清掃活動
B3-06	愛知県	名工建設(株)	「新川クリーンアップ運動」への参加
B3-07	石川県	能登建設(株)	海岸・道路清掃活動と荒廃農地の草刈り



## 観光牧場の花壇・散策路の整備（堀松建設工業（株））

堀松建設工業（株）は、地元留萌市の観光地の環境整備活動や、スポーツイベントへの支援活動に積極的に取り組んでいる。

平成 20 年 5 月 30 日には、職員 30 人が参加して、市内の礼受牧場の花壇を整備した。この日は、2 年間放置されていた花壇枠を補修し、通路にウッドチップを敷き詰め、潮風に強いハーブなど 500 株の植栽を行った。

市民の憩いの場である礼受牧場は、海に沈む夕日の美しいスポットとして観光客にも人気が高い。牧場を管理している市との協議により、今後は毎年、同社が花壇を整備していくことになった。

また、平成 19 年からは、市内の海岸で開催される「日本海 CUP」ビーチバレー留萌大会の会場設営や終了後の整地作業、資材運搬車両の提供を行っている。

この大会は、平成 20 年から市の補助金が無くなることで、存続が危ぶまれたが、同社が全面的に運営協力することで、無事開催することができた。

平成 21 年 1 月には、同社の環境美化やスポーツ振興への積極的な取り組みに対して、留萌市から感謝状が贈られた。



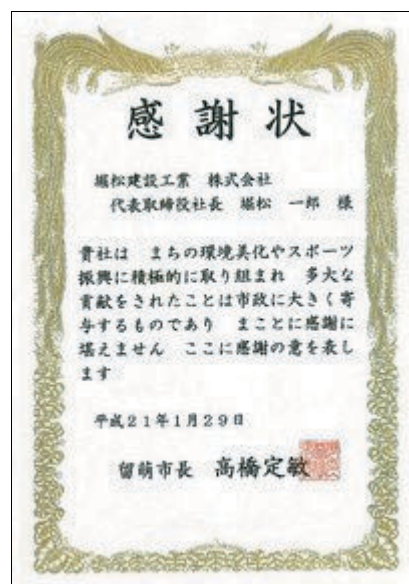
礼受牧場の花壇整備



花壇でのハーブの植栽



ビーチバレー大会のコート設営



留萌市からの感謝状

## スマイルサポーターとしての清掃奉仕活動（(株)佐藤建設）

(株)佐藤建設は、平成 16 年、地元の岩沼市を通る県道仙台空港線の「スマイルサポーター」として宮城県の認定を受け、毎年 4 回清掃奉仕活動を行っている。

宮城県のスマイルサポーター制度は、ボランティア活動に意欲を持つ地域の個人や企業を「スマイルサポーター」に認定し、宮城県が管理する道路の一定区間で、定期的に清掃や緑化活動、歩道の除雪等を行ってもらう制度である。活動区間には、スマイルサポーター名を記した表示板が設置されるので、参加者の社会貢献をアピールできるとともに、道路利用者のマナー向上が期待できる。

平成 20 年度は、第 1 回目として 5 月 23 日、同社及び協力会から約 100 人が参加して、サポート区間（名取市～岩沼市の延長 4.5km 区間）全線で、歩道や植樹帯に散乱している紙くずや空き缶、ペットボトルなどを拾い集めた。回収したゴミは、分別して同社の 2t トラック 1 台と軽トラック 3 台に積み込み、市内の清掃センターに搬送した。

県道仙台空港線は、仙台空港へのアクセス路線で交通量も多く、ゴミの投棄も目立つ路線である。約 3 時間の清掃作業で、周囲はすっかりきれいになり、空港からの来訪者にも好印象を与えることができるようになった。

同社は、こうした地道な活動を続けることで、自分たちを支えてくれる地域に恩返しするとともに、建設業のイメージアップを図りたいと考えている。



県道仙台空港線沿いのゴミ拾い



回収ゴミの分別



回収ゴミの搬出車



## 憩いの公園や通学路の早朝清掃活動（沼田土建(株)）

沼田土建(株)は、毎週2回、水曜日と金曜日の朝7時50分から、全社員が参加して、近隣地域の早朝清掃活動を実施している。

この清掃活動は、同社が展開する「N・D（ニュー・ドミナント）運動」の一環として、平成15年8月から続いており、周辺の歩道や路地、地域住民の憩いの場である沼田公園などを主な対象としている。夏場はゴミ拾いが中心であるが、雪が積もる冬場は歩道の雪かきも行うので、近隣の沼田小学校、沼田女子高校の児童・生徒の安全な通学路の確保にも貢献している。

沼田土建のN・D運動では、「どこまでお客様に近づけるか、地域の人たちに近づけるかが私たちの挑戦です。」というN・D宣言が、社員の行動規範となっている。早朝清掃活動は、日頃から建設工事によって迷惑をかけている近隣住民への恩返しの意味を持つと同時に、全社員が一斉に同じ作業に従事することで、連帯感の醸成にもつながる。また、活動を継続することで、社員一人ひとりに優しい気持ちが培われ、目に見えない顧客満足の尺度が見えてくることも期待している。

同社は、「早朝清掃は自分たちの『心の清掃』でもある」との社長の言葉のもと、今後も積極的に活動を展開し、地域との交流を図っていく考えである。



春・桜の花びらの清掃



夏・沼田公園駐車場の清掃



秋・沼田公園の落ち葉の清掃



冬・通学路の雪かき



## 公共施設の植栽保全・清掃奉仕活動（(株)三六組）

(株)三六組は、公共施設での植栽保全や清掃、河川の草刈り清掃など、地域の環境美化活動に積極的に取り組んでいる。

### ■市営駐車場の植樹帯の植栽保全活動

同社は、平成 18 年に市役所前の市営駐車場の施工を担当した。翌年、駐車場内のソメイヨシノの植樹帯に雑草が生い茂っているのを見た同社は、自ら手入れを行うことを市に申し出て、年 2～3 回、除草や植栽等の作業を行っている。

平成 20 年度は、7 月 4 日に社員 8 人が参加して、除草と表土の改修作業を行い、7 日に芝張り、9 日にはコスモスとヒマワリの種蒔きを行った。

このヒマワリは、同年 11 月に季節はずれの大輪の花を咲かせた。紅葉とヒマワリの組合せは市民を驚かせ、見物客も訪れるなど、町に明るい話題を提供した。

### ■近隣の清掃奉仕活動

平成 14 年 3 月の環境 ISO 認証取得を契機に、毎月 1 回、朝礼前の 30 分間、役員と全社員が参加して、近隣の清掃奉仕活動を行っている。

### ■河川の美化活動

平成 19 年 7 月に同業者 3 社と「ふるさと愛護会」を結成して、飯田建設事務所と「松川アダプトプログラムに関する契約」を結び、契約区間 700m のごみ拾い、草刈り清掃などの美化活動を実施している。平成 20 年度は、5 月 16 日に社員 9 人が参加して、草刈り機を使用して雑草の除去作業を行った。



市営駐車場の植樹帯の草刈り



植樹帯の芝張り



飯田駅前広場の清掃



松川の草刈り清掃

## 「倉松クリーン運動」による道路清掃活動（(株)水野組）

(株)水野組は、平成 13 年度より、地元の国道 1 号線の清掃活動「倉松クリーン運動」を展開している。

これは、毎年春と秋の年 2 回、全社員が参加して、同社近くの国道 1 号線約 2km の区間で、側道や中央分離帯の清掃活動を行うもので、約 2 時間で「一人一袋」のゴミ収集を目標としている。

平成 20 年度は、4 月 19 日と 10 月 18 日に、それぞれ社員 20 人が参加して行われ、中央分離帯を中心に、空き缶、ペットボトル、弁当ゴミなどを拾い集めた。

この活動は、平成 18 年 12 月には、同社が国土交通省、浜松市と協定を結んだボランティア・サポート・プログラム「浜松バイパスクリーンロード運動」の一環として位置付けられることになった。現在、対象区間には同社を実施団体とした「浜松バイパスクリーンロード運動」の大きな看板が設置されており、道路利用者に環境美化を呼び掛けるとともに、社員の意識高揚につながっている。

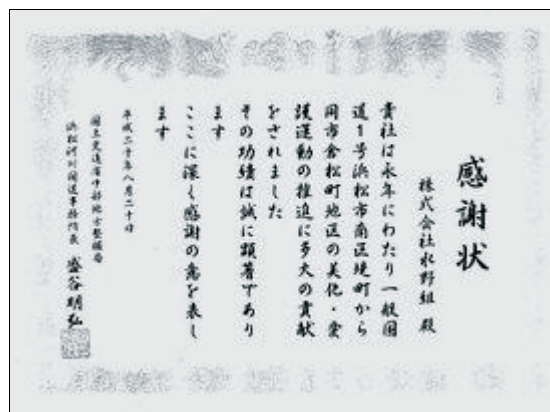
同社のクリーン運動は、地域住民からも注目されており、平成 20 年 8 月には、地域の美化・愛護運動の推進に貢献した功績により、国土交通省浜松河川国道事務所から感謝状が贈られた。



国道 1 号線沿いのゴミ拾い



「浜松バイパスクリーンロード運動」看板



浜松河川国道事務所からの感謝状



## 「新川クリーンアップ運動」への参加（名工建設(株)）

名工建設(株)は、愛知県の「新川東部流域下水道事業」における施工業者の協議会が実施する「新川クリーンアップ運動」に参加して、新川東部浄化センター周辺の定期的な清掃活動を行っている。

同社は、平成 17 年 2 月 5 日の初回活動から参加しており、平成 21 年 4 月までの活動回数は 26 回に上る。

活動当初は散在するゴミが目立ち、回収する量も多かったが、回数を重ねるにつれて徐々にゴミの量は減ってきた。また、活動中に着用している揃いの蛍光色のスタッフジャンパーと帽子が、非常に目立つこともあって、最近では近隣住民から挨拶や感謝の言葉を掛けられるなど、活動が認知され、成果が出てきたといえる。しかし、ゴミのポイ捨てはまだまだ無くならないので、クリーンアップ運動は今後も継続して実施することになっている。

また、地元のサッカー少年団と合同での活動も定期的に行っており、終わった後の父兄を交えての交流会が好評で、地元の人々とのふれあいを深める良い機会となっている。

なお、同社の環境美化活動に対して、平成 18 年 5 月 30 日に北名古屋市から、平成 19 年 4 月 14 日には豊山町から感謝状が贈られた。



清掃活動前のミーティング



新川東部浄化センター周辺の道路清掃



北名古屋市の感謝状



豊山町の感謝状



## 海岸・道路清掃活動と荒廃農地の草刈り（能登建設(株)）

能登建設(株)は、本社移転を機に始めた海岸清掃活動をはじめ、道路・河川愛護活動、荒廃農地の草刈りなど、地域の環境美化活動に積極的に取り組んでいる。

### ■三崎海岸の清掃活動

平成 12 年 6 月の本社移転以来、毎年 7 月の海の日に、新社屋近くの三崎海岸約 1km の清掃活動を実施している。

平成 20 年度は、役職員 42 人が参加して、朝 8 時から 12 時まで海岸の漂着物の回収と清掃を行った。

三崎海岸は、能登半島先端に位置する風光明媚な砂浜で、地域住民の散策コースとして、また夏には海水浴場として賑わう場所である。珠洲市では、三崎海岸の美化に力を入れており、建設機械を用いて大型漂着物を撤去するなど、同社の機動力を生かした清掃活動には、地元住民も大きな期待を寄せている。



三崎海岸の清掃



海岸漂着物の回収

### ■道路・河川愛護活動

三崎海岸への漂着物が少ない年は、本社から海岸までの道路で、空き缶やゴミ拾い等も行っている。

また、地域の道路愛護、河川愛護活動にも積極的に参加し、建設機械、トラック等を提供している。

### ■荒廃農地の草刈り

平成 20 年 1 月には、ISO14001 の認証を取得して、環境問題への取組みをさらに強化した。11 月には、NPO 法人と共同でビオトープ造成に取り組むこととし、約 1ha の荒廃農地の草刈りを行った。



道路愛護活動への参加



荒廃農地の草刈り作業

#### (4) 環境保全活動

会員企業の環境保全活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B4-01	愛知県	(株)加藤建設	水郷の里蟹江でホタルが飛ぶ環境の整備

#### 事例 B4-01 : 愛知県

##### 水郷の里蟹江でホタルが飛ぶ環境の整備 ((株)加藤建設)

(株)加藤建設は、地元の愛知県蟹江町でホタルが飛ぶ環境を取り戻そうと、平成 20 年に結成された市民団体「学戸ホタルの会」に参加して、地域の人々とともに水辺環境の整備に取り組んでいる。

木曽川河口の低湿地帯に位置する蟹江町は、水郷の里と呼ばれ、昔から水との共生を大切にしてきた。しかし近年は、急速に宅地化が進んで河川環境が変化し、以前は多く見られたヘイケボタルが、今ではほとんど見られなくなった。

「学戸ホタルの会」は、地元の学戸小学校の菖蒲園でホタルを自然発生させることを目標に、参加者それぞれが役割を持って活動している。平成 20 年 5 月には、施設整備を得意とする同社が、菖蒲園内にビオトープ（水質浄化施設、飼育小屋、田んぼ等）とホタルのせせらぎ（約 80m の水路）を整備した。このせせらぎには、地域住民と学戸小学校の児童が、ホタルが好むヤマアゼスゲなどの水生植物を植え、6 月 3 日には、児童たちがヘイケボタルの幼虫 350 匹を放流した。



学戸小学校菖蒲園のホタルのせせらぎ

こうして地域住民、児童、学校関係者及び同社が一体となって力を合わせた結果、6 月下旬から順次ホタルの淡い輝きが見られるようになった。平成 21 年には第二世代 1,500 匹が誕生しており、児童や地域住民は夏の乱舞を楽しみにしている。



ビオトープ内の田んぼの整備



児童によるホタルの幼虫の放流



## (5) 社会福祉活動

会員企業の社会福祉活動として、次の7事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B5-02	青森県	上北建設(株)	冬期の通学路確保のための歩道の除雪活動
B5-03	岩手県	(株)小原建設	「かけっこ体育館」で子育て支援
B5-04	宮城県	(株)深松組	青色回転灯を用いた地域の防犯パトロール
B5-05	福島県	陰山建設(株)	全国屈指の大規模な献血運動
B5-06	静岡県	(株)増田組	学童の交通安全支援と県道の美化活動
B5-07	三重県	水谷建設(株)	地元学区における「こども110番」活動
B5-08	広島県	錦建設(株)	「献血サポーター」としての献血普及活動

### 事例 B5-02：青森県

#### 冬期の通学路確保のための歩道の除雪活動（上北建設(株)）

上北建設(株)は、平成18年より、地元の十和田市立南小学校児童の冬期の通学路確保のために、歩道の除雪活動を行っている。

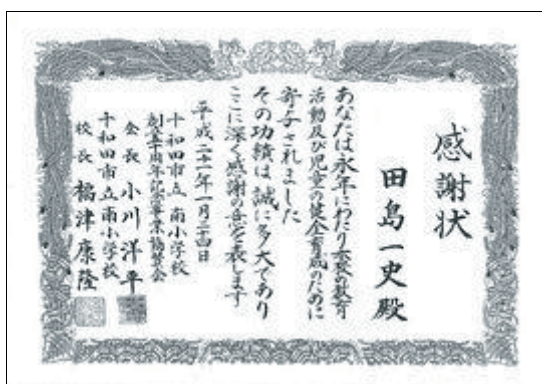
これは、児童が登校する前の朝5時～6時に、通学路となる区間の歩道の雪を、除雪車両と排雪用ダンプトラックで除去する同社独自のボランティア活動で、毎年十和田市と協定を交わした上で、1シーズンに10回以上実施している。

自治体の道路除雪は、雪の多い年には車道除雪が精一杯で、歩道までは手が回らない。歩道が通れなければ車道を歩くことになるが、朝夕の凍結時には滑りやすく、降雪が続けば車道の端はすり鉢状となって極めて危険である。

同社の除雪活動は、自治体や近隣住民からも大変感謝されており、平成21年1月には南小学校から感謝状が贈られた。



歩道の除雪作業



南小学校からの感謝状



歩道の除雪完了



## 「かけっこ体育館」で子育て支援（株）小原建設

（株）小原建設は、指定管理者として管理運営している村崎野勤労者体育館を、週2日、「かけっこ体育館」として未就学児と保護者に無料開放している。

この「かけっこ体育館」は、核家族化や地域社会の関心の低下で孤立化しているといわれる子育て世代を支援するための活動で、平成19年に北上市の提案型事業で採択された、NPO法人及び市との協働事業である。

体育館の開放日には、子どもたちは広い体育館を自由に駆け回り、遊具で自由に遊ぶことができる。また、NPO法人の経験豊富な「体操のお兄さん・お姉さん」が、子どもたちに楽しい運動を教えてくれる。一方、保護者にもコミュニケーションの場を提供することで、育児情報の交換や育児ストレスの軽減に役立っている。子どもたちの傷害保険には同社が一括加入しているため、保護者は安心して遊ばせることができる。

「かけっこ体育館」は、子育て真っ最中のお母さんたちにたいへん好評で、当初は半年間だけの実施予定だったが、その後も継続することになった。年間利用者数は、当初目標の10倍にあたる2,000人を上回っている。

この活動は、自治体関係者からも非常に高く評価されており、平成20年11月には岩手県協働事業表彰の知事奨励賞を、平成21年3月には北上市の地域貢献活動企業功績賞を受賞した。



「かけっこ体育館」で遊ぶ子どもたち



「かけっこ体育館」で遊ぶ子どもたち



岩手県からの賞状



北上市からの賞状

## 青色回転灯を用いた地域の防犯パトロール（(株)深松組）

(株)深松組は、地域の子どもの犯罪被害を未然に防止するために、「深松組防犯パトロール隊」(青パト隊)を結成し、通学路の防犯パトロールを行っている。

これは、宮城県建設業協会が平成 18 年度より推進し、同社も参加している「子ども 110 番パトロール」を拡大した活動で、より高い犯罪抑止効果が期待できる「青色回転灯」を設置したパトロール車を用いることを特徴としている。

青色回転灯は、一般車両への装着が禁じられている。同社は平成 19 年に、宮城県警察本部に青色回転灯の使用申請を行い、パトロール方法の講習等を受けた後、平成 20 年 2 月に、適正使用者として認可証明証の交付を受けた。

現在、社員 5 人がパトロール隊員となって、毎週月、水、金の 3 回、地元の通町小学校の児童の登下校時間に、青色回転灯を設置した黒塗りの社用車で、通学路の巡回パトロールを行っている。最近では、パトロール車を見かけると、子どもたちが手を振ってくれるなど、この活動について広く知られるようになった。

なお同社では、従来からの 5 台のパトロール車による「子ども 110 番パトロール」も並行して進めている。

同社は、地域に根ざした企業経営を基本方針としており、こうした自主活動を通じて、今後も地域社会に貢献するとともに、業界に対する一般市民の理解を深めていきたいと考えている。



青色回転灯を設置したパトロール車



青色回転灯装備車の標章



パトロール車の出発式



防犯パトロール実施中の看板



## 全国屈指の大規模な献血運動（陰山建設(株)）

陰山建設(株)では、昭和 59 年から毎年献血運動を実施しており、現在は 1 日で 1,000 人を超える参加者が集まる、全国屈指の大規模な献血運動となっている。

この運動を始めたきっかけは、同社の初代社長が、友人の手術で血液を提供した際、福島県内の血液が慢性的に不足していることを知り、それを解決するために地元企業として率先して行動しようと考えたことである。以来、「広げよう、続けよう 善意の献血」を合言葉に、同社協力会と共同で毎年実施するようになった。

当初は、6 月上旬に実施していたが、平成 3 年からは、血液在庫が最も不足する 8 月の第 1 週を開催日としている。その後、メディアで大きく取り上げられたこともあって、一般の参加者が急増し、平成 4 年には 1 日で 1,000 人を突破した。

平成 20 年度は、8 月 1 日、県赤十字血液センターが保有する全 8 台の大型採血車を（「愛の献血広場」と呼ばれる）同社の駐車場に配置し、午前 8 時半から午後 5 時半まで開催した。参加者は、同社及び業界関係者をはじめ、市内全域から集まった住民や学生など約 1,300 人に上り、採血量は 200cc 換算で 1,800 本余りとなった。会場では、同社と協力会の社員ら 80 人がスタッフとして、駐車場の誘導、会場案内、記念品の贈呈、休憩所での食事提供などを行った。

同社は、これからもさまざまな人々の協力の下、献血という善意の輪を広げる運動の歴史を重ねていきたいとしている。



献血会場となる会社駐車場



献血の受付



採血車での献血状況



休憩所での食事提供



## 学童の交通安全支援と県道の美化活動（株）増田組

（株）増田組は、地域に支えられている会社として、眼に見える形で地域に貢献したいと考え、学童の交通安全支援、県道の美化活動などを毎年実施している。

### ■学童の交通安全支援

平成 15 年より、全国交通安全運動の期間中に、地元小学校の通学路で交通安全支援を行っている。これは、子どもにとって特に危険な横断歩道の前に、同社の役職員が交代で朝 7 時から立ち、登校する児童の横断を補助する活動である。この時、児童に「おはよう」と声を掛けることで、挨拶運動も兼ねている。

当初は、秋の交通安全運動期間中に実施していたが、現在は、年 4 回全ての運動期間に実施している。

毎年 3 月になると、児童たちからお礼の手紙が届くことが、この活動の励みとなっている。

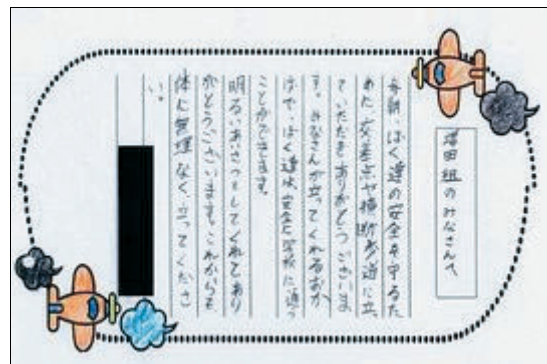
### ■県道の美化活動

平成 14 年、同社創業 90 周年記念事業として、県道バイパス沿いに交通安全標語の看板を設置して以来、年 2 回、看板周辺の除草活動を行ってきた。平成 21 年 1 月からは、静岡県が推進している「アダプトロードプログラム」による活動に移行し、2 月には道路沿いにアジサイや水仙などを植栽した。

そのほか、地元企業数社とともに、平成 9 年より「小さな親切」運動を展開しており、年 4 回、主に土曜日に各地でゴミ拾い等の美化活動を行っている。



児童の道路横断支援



児童からのお礼の手紙



交通安全看板周辺の除草活動



県道バイパス沿いの植栽

## 地元学区における「こども 110 番」活動（水谷建設(株)）

水谷建設(株)は、平成 18 年より、地元の小学校や幼稚園、保育園の下校時間に、「こども 110 番」として子どもたちの安全を見守っている。

「こども 110 番」活動は、子どもたちを犯罪者から直接的に保護することはもちろん、監視の目が厳しい地域という印象を与えることで、犯罪を未然に防ぎ、安心して暮らせる地域づくりに貢献することが目的である。

活動日は、休校、休園日を除く毎日で、子どもたちが下校する午後 2 時半から 4 時半までの間、「こども 110 番」のゼッケンを付けた同社職員が通学路に立って、子どもたちに声を掛けたり会話をしたりしながら見守っている。

通学路の各所には「こども 110 番」ののぼりを立てて、防犯に対する地域の関心を高めるとともに、犯罪者の近寄り難い雰囲気アピールしている。同社の社用車にも同じく「こども 110 番」のステッカーを貼って、アピール効果を高めている。また、小学校、幼稚園、保育園及び PTA とも連携して、不審者情報等の連絡を受けた場合には、新たに重点実施箇所を設定するなど、より効果的な活動となるように対応している。

子どもたちを巻き込む交通事故や犯罪が連日報道される中、同社の活動は、子どもたちに安全と安心を与える活動として、地域住民からも喜ばれており、平成 20 年 6 月には、地元の大和小学校 PTA から感謝状が贈られた。



通学路での子どもたちへの声掛け



水谷建設前の「こども 110 番」のぼり



社用車の「こども 110 番」ステッカー



大和小学校 PTA からの感謝状



## 「献血サポーター」としての献血普及活動（錦建設（株））

錦建設（株）は、毎年社員による献血活動を実施するとともに、「献血サポーター」に企業登録し、献血活動の普及・啓発に努めている。

同社は、社員が社会貢献を身近に感じ、具体的な形で参加できる活動として、平成 18 年度から献血活動を実施している。平成 20 年度は、全社的な取組みに拡大して年 2 回の実施とし、会社の駐車場に移動採血車を設置して、5 月に 21 人、12 月に 14 人が献血に協力した。

この献血活動を通じて、社員が社会貢献を強く意識するようになり、同時に、自らの健康や体調管理に気を使うようになった。

また同社は、厚生労働省が提唱する「献血サポーター」にも企業登録している。

これは、献血に積極的に協力する企業・団体を「献血サポーター」として認定し、ロゴマークの使用を許可することで、企業・団体が行う献血活動を広く一般社会に認知してもらう制度である。

「献血サポーター」ロゴマークの配布許可は日本赤十字社が行っており、「献血サポーター」に登録されると、年 1 回以上の献血協力、献血への協力の呼びかけ、献血できる体調・健康の維持、緊急な血液不足時の積極的な協力などが求められる。

同社は、現在の献血活動をさらに充実させ、「献血サポーター」として、地域住民にも献血活動を広く PR していく考えである。



献血の案内チラシ



「献血サポーター」ロゴマーク



移動採血車



献血の受付



## (6) 建設業の啓蒙・イメージアップ活動

会員企業の啓蒙・イメージアップ活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B6-01	北海道	明盛建設(株)	釧路湿原自然再生ミニ資料館の開設
B6-02	和歌山県	三友工業(株)	建設現場での仮囲い壁画大会の開催

### 事例 B6-01 : 北海道

#### 釧路湿原自然再生ミニ資料館の開設 (明盛建設(株))

明盛建設(株)は、自社が施工した釧路川の旧川掘削工事の期間中(平成20年9月～平成21年3月)、タンチョウの餌付けで有名なJR釧網本線茅沼駅近くの現場事務所横に、「釧路湿原自然再生ミニ資料館」を開設した。

この工事は、直線化された釧路川を元の蛇行した川に復元し、湿原本来の環境に近づける自然再生事業である。

資料館では、この事業の意味を広く一般の人々に理解してもらうために、工事内容や施工方法の説明のほか、旧釧路川に生息する19種類の魚介類や昆虫などを水槽で展示した。また、自然再生事業がどのようなもので、どのような取組みが行われているかをわかりやすく説明したパンフレットを用意した。開設にあたっては、地元コンサルタントと釧路湿原自然再生協議会(ワンダグリンド)の協力を得ている。

この資料館については、釧路新聞やFM釧路、NHKなどのメディアでも取り上げられ、タンチョウの飛来時期、冬のSL運行時には多くの来館者があった。また、来館者をお願いしたアンケート調査の結果では、釧路湿原の自然再生に向けての環境教育や市民参加の推進に役立っていると評価されている。



直線化された釧路川と旧釧路川



釧路湿原自然再生ミニ資料館

## 建設現場での仮囲い壁画大会の開催（三友工業（株））

三友工業（株）は、建設現場の仮囲いを利用した壁画大会をはじめ、交通安全運動、一万人大清掃への参加など、地域住民と一体となった活動に力を入れている。

## ■仮囲い壁画大会

平成 18 年に雄湊小学校プール附属施設の工事を行った際、校庭に設置した工事用仮囲いを利用して、児童全員による壁画大会を実施した。会場では、同社が用意したペンキ、刷毛を使って子どもたちが思い思いの絵を描き、見事な壁画を完成させた。

また、平成 19 年の総合体育館整備工事では、仮囲いフェンスに子どもたちのスポーツ大会の写真 10 枚を展示した。

## ■交通安全運動への参加

毎年春と秋の交通安全運動期間には、朝の通勤時間帯に、幹線道路沿いで横断幕とのぼりを掲げて交通安全啓発活動を行っている。また、平成 20 年からは、和歌山県警が推進する毎月 25 日の「交通事故ゼロの日」運動に協力し、のぼりを掲げて安全を呼び掛けている。

## ■「一万人大清掃」への参加

和歌山市が毎年秋に開催している「一万人大清掃」に、和歌山市建設業協会の主力メンバーとして、同社社員が多数参加し清掃活動を実践している。

## ■AED 説明会等の開催

社員及び近隣自治会の人々を対象に、平成 19 年に AED（自動体外式除細動器）導入説明会、平成 20 年には新型インフルエンザ対策研修会を開催した。



仮囲いでの壁画大会



子どもたちによる壁画



交通安全啓発活動



「一万人大清掃」活動

**【参 考】**

リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 4」

(縮小版)







# 災害から守る!

私たち建設業は、地域の安全・安心のために頑張っています。

■過去10年間に発生した災害(死亡・行方不明者6名以上)

年月	災害名	死者・行方不明者
平成11年 6月	熊鷹の森事件	39人
11年 6月	新潟・新潟県上越市上水川	17人
11年 6月	新潟・新潟県14号	8人
11年 6月	広島県14号	20人
11年 10月	徳島県	3人
12年 6月	東海豪雨静岡県静岡市駿河区14号以上5水川	12人
13年 6月	奈良11号	8人
13年 6月	奈良15号	8人
14年 7月	広島県	7人
15年 7月	熊鷹の森事件	20人
15年 6月	奈良16号	19人
16年 6月	広島6号	3人
16年 7月	平成16年7月新潟・福島豪雨	18人
16年 7月	平成16年7月新潟豪雨	5人
16年 6月	平成16年7月新潟豪雨	13人
16年 6月	平成16年7月新潟豪雨	17人
16年 6月	奈良18号	4人
16年 6月	奈良19号	27人
16年 10月	奈良20号	3人
16年 10月	奈良21号	30人
16年 12月	熊本	20人
17年 6月	熊鷹の森以上5水川	12人
17年 6月	奈良14号	20人
17年 12月	平成18年豪雨	152人
18年 6月	熊鷹の森以上5水川	32人
18年 6月	奈良22号	19人
18年 6月	奈良23号	20人
18年 6月	熊鷹の森以上5水川	20人
18年 11月	奈良24号	9人
18年 7月	熊鷹の森4号熊鷹の森以上5水川	7人
20年 7月	大気の状態が不安定による大雨と突風	3人
20年 8月	大気の状態が不安定による大雨	8人

■平成7年以降に発生した大地震

年月	震源地(震度)	死者
平成 7年 1月	熊鷹の森(震度1)	6,428人
12年 7月	広島県(震度1)	7人
13年 3月	広島県(震度2)	2人
15年 3月	平成15年(2003年)大東南海地震(M6.9)	2人
16年 10月	平成16年(2004年)新潟中越地震(M6.8)	68人
17年 3月	熊鷹の森(震度1)	1人
18年 3月	平成18年(2007年)新潟中越地震(M6.8)	1人
18年 7月	平成18年(2007年)新潟中越地震(M6.8)	18人
20年 6月	平成20年(2008年)新潟・大越西後地震(M7.2)	23人
20年 7月	熊鷹の森(震度1)	1人



西子・田代内陸地帯の崩壊状況



長野県小川町の洪水被害



熊鷹の森の被害状況



## 生活を守りまちをささえる 建設業

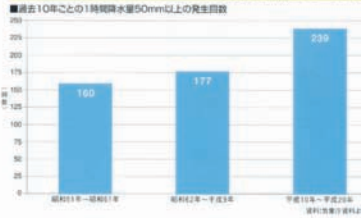
日本は火山の多い地震王国です。また台風や豪雨・大雪など、季節や地域によってさまざまな自然の猛威におそわれる災害列島でもあります。だからこそ、わたしたちの安全・安心を守るために強いまちづくりが必要です。

いつ、どこで、何が起きるか分からないからとっても不安だね!

災害協定 締結

各建設業協会は行政機関と災害協定を締結し、災害発生時には迅速な対応をしています。

環境の変化などにより、近年集中豪雨が増加しています。



# 環境を守る!

私たち建設業は、循環型社会(リファーズ,リデュース,リユース,リサイクル)に取り組んでいます。



建設工事でリサイクルした資源をたくさん使っています。

- **リファーズ(Refuse)**とは、ゴミになるものを元から絶つことです。
- **リデュース(Reduce)**とは、ゴミになるものの買用量、使用量を減らすことです。
- **リユース(Reuse)**とは、モノを捨てず、使えるものは繰り返し使うことです。
- **リサイクル(Recycle)**とは、不要になったものを資源に再生して再び利用することです。



## 生活を守りまちをささえる 建設業

建設業では、たくさんの資源が再利用されています。

資源の種類	再資源化率(%)	
	平成7年度	平成17年度
コンクリート塊	65	98.1
アスファルト・コンクリート塊	81	98.6
建設発生木材	40	90.7
建設汚泥	14	74.5
建設発生土	32	62.9
建設副産物計	58	92.2

こんなにリサイクルしているんだね!



私たち建設業は、環境を守るため様々な活動に取り組んでいます。

屋上緑化

太陽光発電

風力発電





平成21年度  
**建設業社会貢献活動事例集**  
—生活を守り まちをささえる建設業—

平成22年4月

発行 社団法人 全国建設業協会  
東京都中央区八丁堀 2 丁目 5 番地 1 号  
☎ 03 (3551) 9396 (代表)  
<http://www.zenken-net.or.jp/>

